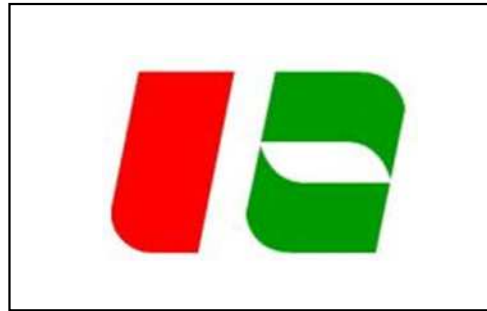


消 防 年 報

平成29年版
(2017年)



西 宮 市 消 防 局

平成30年 (2018年) 刊行第66号

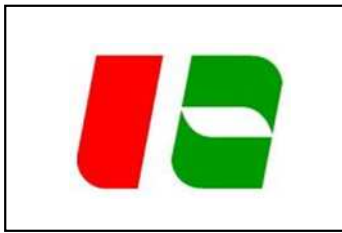
西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、平成29年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

平成30年（2018年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道、西宮北有料道路などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



目

平成29年度に実施した主な事業	
消防庁舎等整備事業	9
消防車両整備事業	10
消防団車両整備事業	11
消防団車庫整備事業	11
概 況	
西宮市の消防	15
平成29年中の各種出動件数	15
各種出動状況	16
緊急消防援助隊派遣状況	16
火災、その他災害、救助、救急 件数の推移	17
西宮市消防の沿革	18
所属別情勢	32
平成29年度重点目標	33
消防局の組織及び事務分掌	34
消防署の組織及び事務分掌	35
職員配置状況	36
年度別職員数状況	36
職員年齢状況	36
職員勤続年数状況	36
消防庁舎の概要	37
消防自動車等保有状況	38
消防情勢の推移	39
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	40
消防協力隊結成状況	40
消防水利の状況	41
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	41
消防相互応援協定締結状況（その1）	42
消防相互応援協定締結状況（その2）	43
消防相互応援協定締結状況（その3）	44
消防相互応援協定締結状況（その4）	45

次

庁舎配置及び管轄区域	46
総 務	
総務の概要	49
消防予算	50
一般会計予算と消防予算の推移	51
消防予算市民負担の推移	51
職員研修状況	
派遣研修（その1）	52
派遣研修（その2）	54
職場研修	55
消防吏員階級別資格取得状況	56
公務災害等発生状況	57
消防表彰等の状況	58
消防音楽隊の状況	59
広 報 及 び 広 聴	
広報及び広聴の概要	63
広報活動状況	63
資料配布及び刊行物発行	64
広聴事務処理状況	64
消防情報の提供（報道機関等）	64

予 防 行 政

予防行政の概要	67
防火対象物現況表	68
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	69
防火対象物査察・検査実施状況	70
用途別中高層（5階以上）防火対象物状況	71
防火管理に関する講習の実施状況	72
建築物確認申請等処理状況	72
12条報告・仮使用承認等処理状況	72
危険物製造所等許可施設状況	73
危険物製造所等類別許可施設状況	73
所管別危険物施設等現況及び査察状況	74
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	75
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	75
少量危険物・指定可燃物 液化石油ガス等届出施設状況	75
住宅防災診断実施状況	76
住宅防災診断指導件数	76

火 災 統 計

火災の概要	79
火災の状況	81
火災状況の推移	82
署別火災発生状況	82
月別火災発生状況	83
曜日別火災発生件数	84
時間別火災発生件数	84
覚知方法別火災発生件数	84
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	85
火災種別毎の損害額の割合（前年比較）	85

平成29年の出火原因	86
10年間の主な出火原因	86
放火件数の推移	87
放火の曜日別火災発生件数	87
放火の時間別火災発生件数	87
放火による着火物	87
主な火災発生状況	88
隣接都市火災応援（被応援）出動状況	88
高速道路における隣接都市 火災応援（被応援）出動状況	88
消防局消防活動状況	89

そ の 他 災 害

その他災害の概要	93
所属別その他災害発生状況	94

水 防 統 計

水防災活動状況	97
---------	----

救 急 統 計

救急の概要	101
救急出動件数	102
救急出動件数・搬送人員の推移	102
事故種別出動件数及び搬送人員	103
事故種別出動件数の推移	103
事故種別傷病程度別搬送人員	104
傷病程度別搬送人員の推移	104
事故種別年齢区分別搬送人員	105
年齢区分別搬送者の推移	105
月別救急出動件数	106
曜日別救急出動件数	106
時間別救急出動件数	107
医療機関別搬送状況	108
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	108
現場到着及び病院収容所要平均時間	109
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	109
応急処置等の状況	110
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	110
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	111
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	111
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	111
所属別救急講習実施状況	112
救急講習実施回数及び受講者数の推移	112

熱中症による救急搬送状況の週別推移	113
熱中症による救急搬送状況の推移	113
救急出動状況	114
救急隊別出動状況	115
月別・曜日別救急出動状況	116

救 助 統 計

救助の概要	119
救助出動状況	120
発生場所別出動状況	121
月別救助出動状況	122
救助出動状況の推移	123
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	124
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	124
主な救助器具配置状況	125

消 防 通 信

指令業務の概要	129
消防通報用電話（119番）受信状況	130
消防通信施設の状況	131
気象情報等月別発令状況	132
発令された防災指令等	132
消防テレホンサービス利用状況	133

車 両 整 備

車両整備の概要	137
車両の購入	137
点検整備等	138

消 防 団

西宮市消防団の沿革	141
消防団の組織	143
消防団自動車現況	144
消防団員在職年数状況	145
消防団員年齢状況	145
消防団費と市民負担	146
消防団出動状況	146
消防団訓練実施内容	146
派遣研修及び教育訓練実施状況	146
団員の職業別	147
表 彰	147

平成29年度に 実施した主な事業



瓦木消防署甲東分署 開庁式

消 防 庁 舎 等 整 備 事 業



瓦木消防署甲東分署 新庁舎



瓦木消防署甲東分署 倉庫棟

消 防 車 両 整 備 事 業



救助工作車(Ⅲ型)
【西宮消防署】



高規格救急車
【鳴尾消防署】



高規格救急車
【甲東分署】

消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車
(津門分団、下大市分団、生瀬分団(東))

消防団車庫整備事業



船坂分団車庫

概 況



「西宮市消防70周年記念フレーム切手」贈呈式

西宮市の消防

(平成30年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1 (整備センターを含む)
消防署	4
消防分署	4
消防自動車等	76台 (非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1 (消防局庁舎内)
分団数	33分団 (7地区)
分団車庫	38箇所
消防自動車等	39台

消防職員

定数	522人
実員	421人(うち女性7人) ※派遣職員28人を除く

消防団員

定員	755人
実員	698人(うち女性7人)

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	110人
団員	448人(うち女性7人)
機能別団員	26人

《平成30年度消防予算》

60億281万1千円

平成29年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	96件
(平成28年中)	86件)
西宮市で3.8日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	3,456万9千円
(平成28年中)	2億6,239万4千円)
火災1件あたりの損害額は36万円となり、市民1人あたりでは71円になります。	

死傷者	[死者 0人 負傷者 10人]
-----	----------------------

平成28年中	[死者 0人 負傷者 15人]
--------	----------------------

《その他災害》

その他災害出動件数	941件
(平成28年中)	971件)

《救急》

救急出動件数	23,059件	
(平成28年中)	22,850件)	
西宮市で1日平均63.2件出動したことになります。		
	(平成29年中)	(平成28年中)
1 急病	14,604件	14,463件
2 一般負傷	3,809件	3,797件
3 交通事故	1,815件	1,812件
4 上記以外	2,831件	2,778件
となっています。		

《救助》

救助出動件数	452件
(平成28年中)	436件)

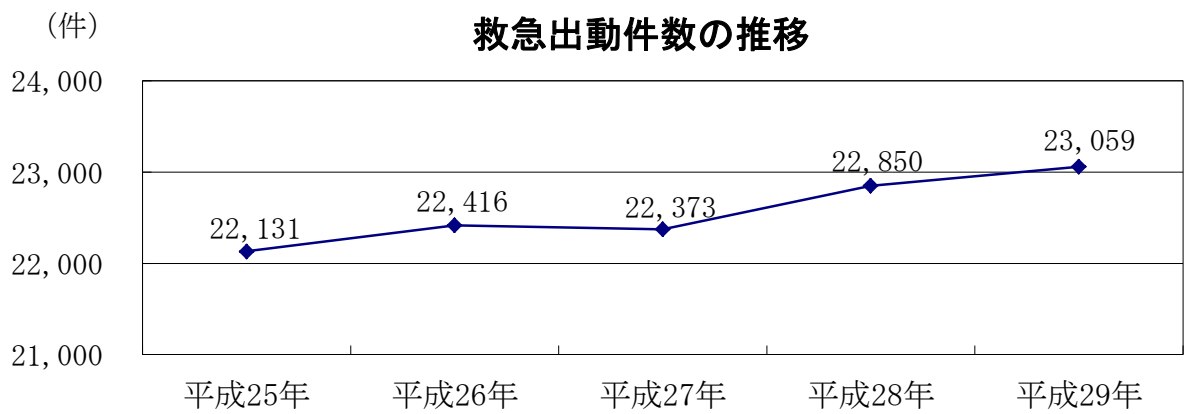
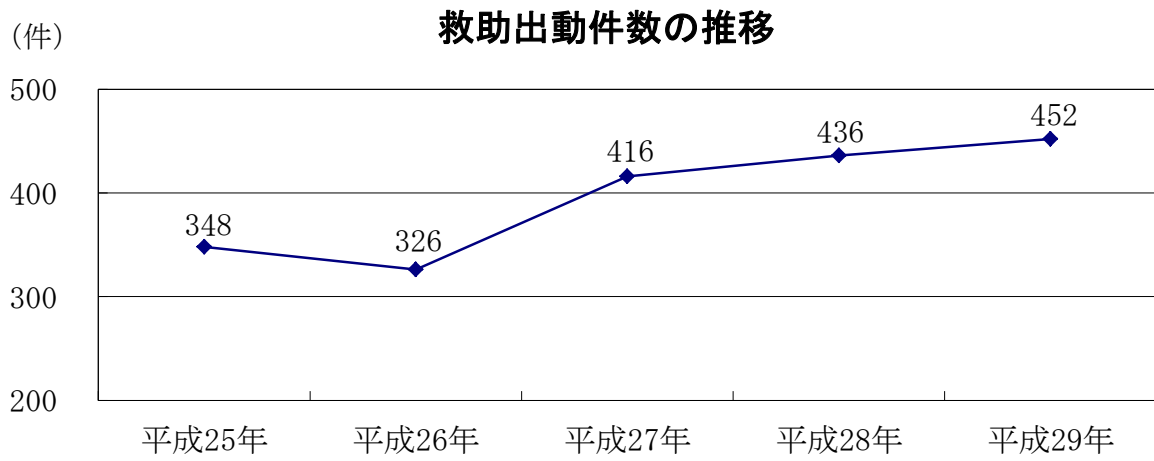
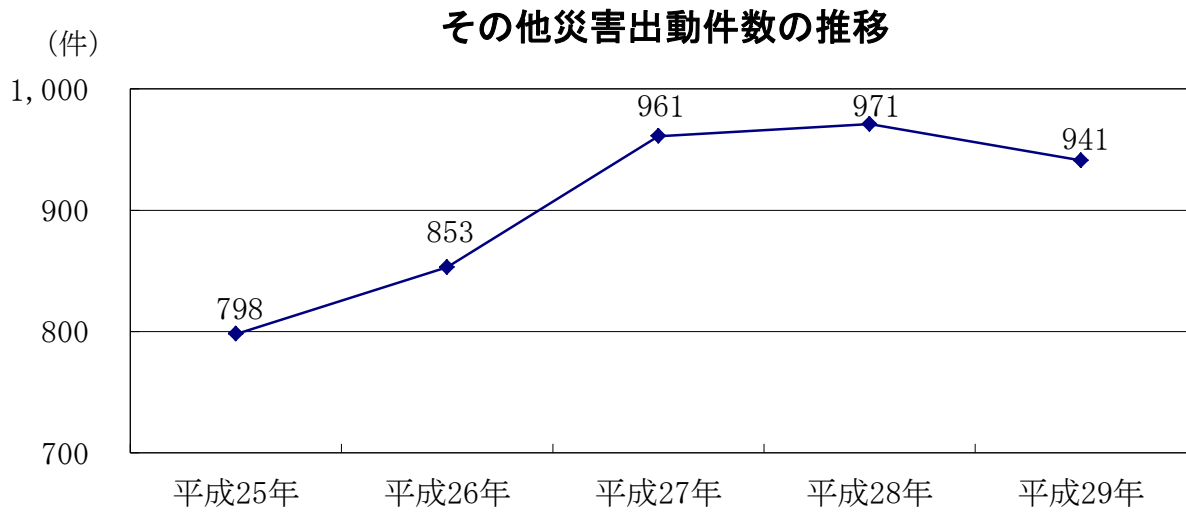
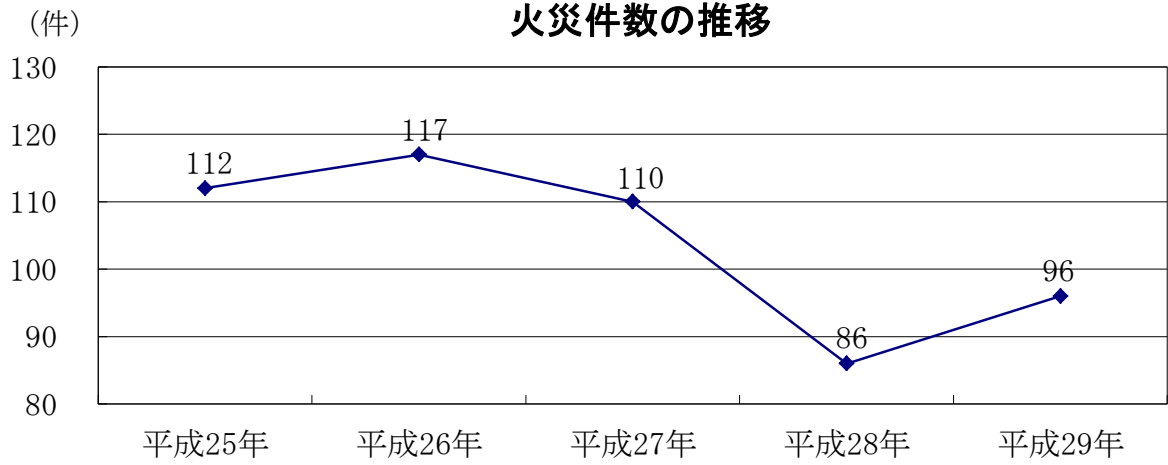
各種出動状況

(平成29年中)

		種 別	出動件数	出動台数	出動人員
緊 急 出 動 業 務	火災 出動	火災件数	96	388	1,408
		死 者	0		
		負 傷 者	10		
		1日当りの火災件数	0.3		
	そ の 他 災 害 出 動	その他災害出動件数	941	1,157	4,443
		緊急措置	117		
		緊急確認	299		
		支援活動	234		
		その他	78		
		補完	213		
	救 助 出 動	救助出動件数	452	1,045	3,753
		救助人員	236		
		1日当りの救助出動件数	1.2		
	救 急 出 動	救急出動件数	23,059	23,059	69,536
		傷病者搬送人員	21,110		
		ドクターカー出動件数	44		
1日当りの救急出動件数		63.2			
合 計			24,548	25,649	79,140

緊急消防援助隊派遣状況

区分 出動場所	月 日	出動車両	出動人員
—	—	—	—



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第 186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1本部 2消防署 消防職員106人 消防主力機械7 その他2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の2台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話2基（基地局1 移動局1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町1番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車4台でもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車2台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車1台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17mはしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局1 移動局6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制4係とする
	LPGガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPGガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者5名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町1番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1本部2消防署2出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の5課制から総務課、消防課、予防課の3課制に統合9係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－3課－9係 消防署 2署 2出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を増強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長－3課－11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置

	機 構 改 革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長－次長－4課－12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く
	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の条件整備を図る
昭和50年	42 m はしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図った
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消防局瓦木分室(救急救助課)が運用していた救急車を配置替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局(本局)に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替のため鳴尾町2丁目所属照寂公園に仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始

昭和55年	42 m はしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工（旧庁舎敷地跡）
	定数改正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機構改革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図る
	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始

昭和63年	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足
	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
平成元年	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
平成3年	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした

平成4年	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急II課程制度	12月	兵庫県消防学校救急II課程開校に伴い研修派遣
	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始
	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置（～平成7年1月）
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急II課程制度	5月	阪神地区救急II課程開校に伴い研修派遣
平成5年	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
平成6年	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
	機構改革	4月	(1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置

平成7年	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車が完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入（以降、ポンプ車に順次整備）
	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置
	機構改革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救急救命士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救援車等配置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
平成8年	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消防水利の整備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消防水利の整備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
	機構改革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救急救命士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	高度救助用器具の導入	8月	高度救助用器具の整備を開始し、画像探索機（Ⅰ型・Ⅱ型）、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置を配置
計測震度計の設置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設	
災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始	

平成9年	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
	全国共通波の整備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設
	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視
平成10年	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機 構 改 革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
	定 数 改 正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機 構 改 革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
平成11年	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を経由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
	定 数 改 正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
平成12年	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
	機 構 改 革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設

	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した (以降、ローテンションにより派遣)
平成13年	機構改革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター(課)を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した
	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
平成14年	定数改正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材(除染テント・シャワー)を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
平成15年	M C 体制確立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス(NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス(NEMIS) ネットとして運用開始した(～平成28年3月)
	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
平成16年	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した(平成28年12月から文書管理システムに移行)
	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した

	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置〔水難救助・BC災害・空気充填機〕）を配置
平成17年	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材〔野営テント他〕）を配置
	携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した
	査察体制の強化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足
平成18年	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬剤投与認定救命士の資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消防学校教官派遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予防技術資格者の認定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した（以降、順次認定）
	A E D 貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、A E D の貸出を開始した
	35 m はしご車配置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
平成19年	備品管理システム運用開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市長事務部局への出向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅費管理システムの導入	4月	旅費管理システムを導入した
	A E D 設置事業	5月	市立学校関係にA E D 設置を行った
	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会（中核市移行記念）を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した

平成21年	地震警報器の導入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした
	キャブ装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャブ装置を導入（以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備）
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
平成22年	機 構 改 革	4月	消防局長一次長－6課－17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	A E D 設置 施設表示制度	5月	A E D 設置している民間事業所に、そのA E D の一般使用について協力を依頼し、A E D 設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成23年	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成24年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亶理郡山元町などに派遣した
	機 構 改 革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した

平成24年	車両配置の再編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消防緊急情報システム更新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) Web119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(AVM装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防OA支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防OA支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入
	山口分署車庫増築	8月	山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	瓦木消防署甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機構改革	4月	課長補佐級制度の廃止(職名は当分の間残置)及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
平成25年	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した

平成26年	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した（以降、ローテーションにより派遣）
	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	機構改革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
平成27年	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した
	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
平成28年	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） 〔タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式〕
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
平成29年	緊急消防援助隊出動	4月	平成28年（2016年）熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日までの7日間にわたり、11隊39名を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
平成30年	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した
	西宮消防70周年記念フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行了した
	消防研究センター派遣	4月	消防庁消防大学校消防研究センターへの職員派遣を開始した

所 属 別 情 勢

(平成30年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面 積	100.18 km ²	局75人(うち女性2人)を含む 局18台を含む		
人 口	484,152 人			
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,150 人			
世 帯 数	220,123 世帯			
消 防 吏 員 1 人 当 り	523 世帯			
防 火 対 象 物 数	11,871 対象			
消 防 水 利 数	6,063 個			
消 防 吏 員 数	421 人			
保 有 車 両 数	76 台			
危 険 物 施 設 数	292 施設			
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面 積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²	
人 口	163,814 人	99,764 人	64,050 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,590 人	1,535 人	1,686 人	
世 帯 数	77,166 世帯	49,514 世帯	27,652 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	749 世帯	762 世帯	728 世帯	
防 火 対 象 物 数	4,500 対象	3,241 対象	1,259 対象	
消 防 水 利 数	2,056 個	1,215 個	841 個	
消 防 吏 員 数	103 人 (うち女性2人)	65 人 (うち女性2人)	38 人	
消 防 車 両 数	15 台	10 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	60 施設	53 施設	7 施設	
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面 積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²	
人 口	137,586 人	99,555 人	38,031 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,581 人	1,687 人	1,358 人	
世 帯 数	63,887 世帯	47,384 世帯	16,503 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	734 世帯	803 世帯	589 世帯	
防 火 対 象 物 数	3,121 対象	2,222 対象	899 対象	
消 防 水 利 数	1,647 個	1,118 個	529 個	
消 防 吏 員 数	87 人 (うち女性1人)	59 人 (うち女性1人)	28 人	
消 防 車 両 数	15 台	9 台	6 台	
危 険 物 施 設 数	138 施設	63 施設	75 施設	
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面 積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²	
人 口	138,743 人	89,202 人	49,541 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,826 人	1,858 人	1,769 人	
世 帯 数	60,288 世帯	39,132 世帯	21,156 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	793 世帯	815 世帯	756 世帯	
防 火 対 象 物 数	3,333 対象	2,342 対象	991 対象	
消 防 水 利 数	1,511 個	891 個	620 個	
消 防 吏 員 数	76 人 (うち女性1人)	48 人 (うち女性1人)	28 人	
消 防 車 両 数	14 台	9 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	33 施設	20 施設	13 施設	
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面 積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²	
人 口	44,009 人	27,139 人	16,870 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	550 人	522 人	603 人	
世 帯 数	18,782 世帯	11,021 世帯	7,761 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	235 世帯	212 世帯	277 世帯	
防 火 対 象 物 数	917 対象	308 対象	609 対象	
消 防 水 利 数	849 個	466 個	383 個	
消 防 吏 員 数	80 人 (うち女性1人)	52 人 (うち女性1人)	28 人	
消 防 車 両 数	14 台	9 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	61 施設	22 施設	39 施設	

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員は、再任用、県教官・初任教育・救急救命士派遣、市出向は含まない。

平成29年度重点目標

平成29年度は第4次西宮市総合計画の9年目となるため、2年後に始まる次期総合計画を見据えながら、南海トラフ地震などの大規模災害をはじめ、多種多様化する災害、高齢化の進展などに伴い増加する消防需要に対応すべく消防力の整備に取り組んでいく。

消防活動拠点としての機能を万全にするため、老朽化及び狭隘化した瓦木消防署甲東分署及び西宮消防署の建替えを引き続き推進するとともに、総合的な部隊訓練が実施できる消防訓練施設の整備を進める。

また、消防の任務を遂行するためには、服務規律の確保、確立された指揮命令系統による部隊行動の徹底が必要不可欠であることから、人材育成に取り組み消防体制の充実強化に努める。

予防対策では、住宅火災による死傷者の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進など住宅防火対策を推進するとともに、放火火災や製品火災等を防止するため火災予防広報の推進を図る。さらには、予防査察体制を充実強化し、違反の早期是正と追跡調査に努める。

救急救助体制では、救急救命士や救助隊員の養成と技術及び能力の向上を図り救急救助業務の高度化を推進するとともに、救命処置の普及促進に努める。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

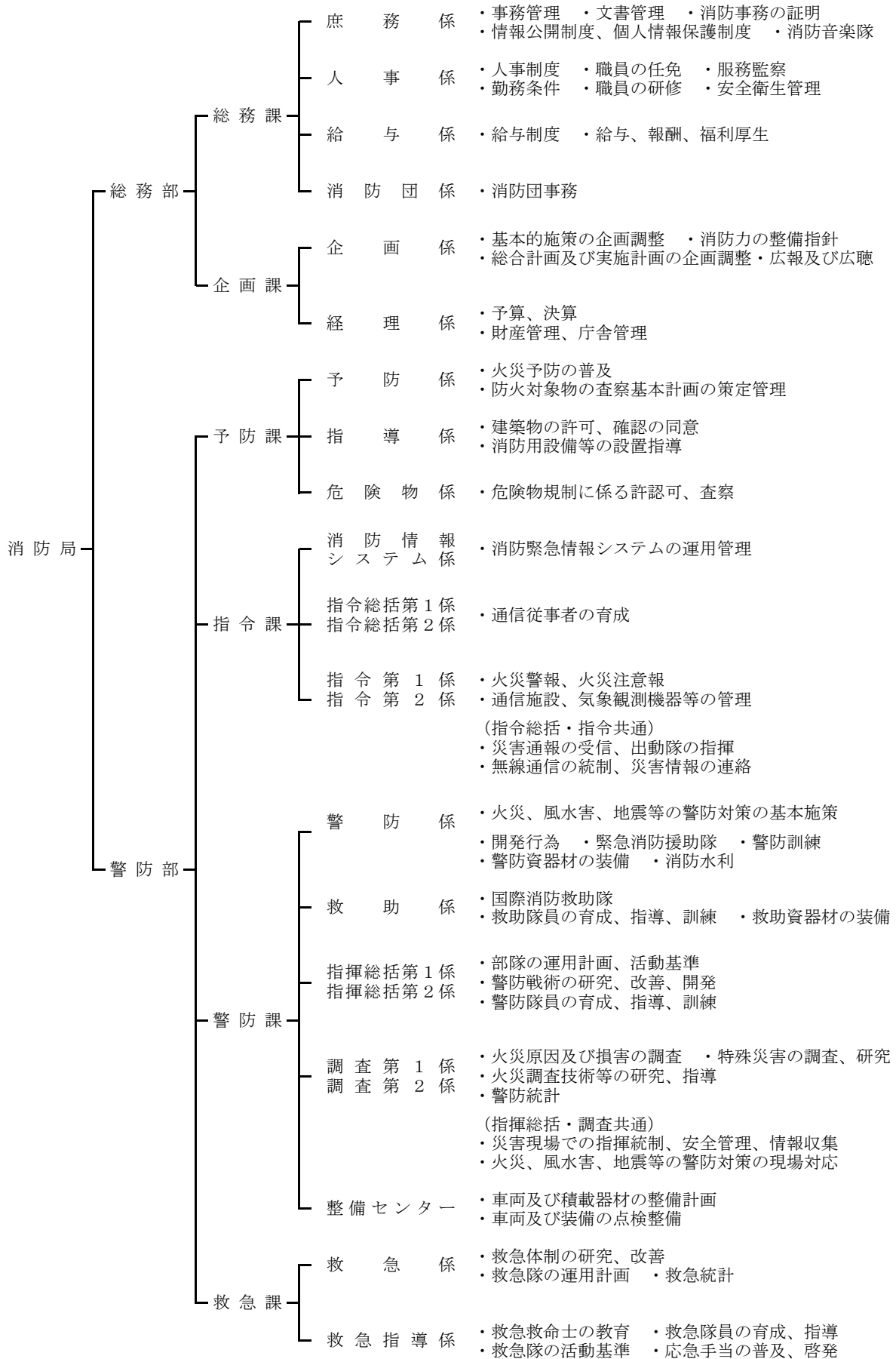
(重点目標)

消防体制の充実強化	1 服務規律の確保 2 部隊行動の徹底 3 人材育成の推進
予防対策の充実強化	1 住宅防火対策の推進 2 火災予防広報の充実 3 予防査察の充実強化
救急救助体制の充実強化	1 救急救助技術及び能力の向上 2 救急救助業務高度化の推進 3 救命処置の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

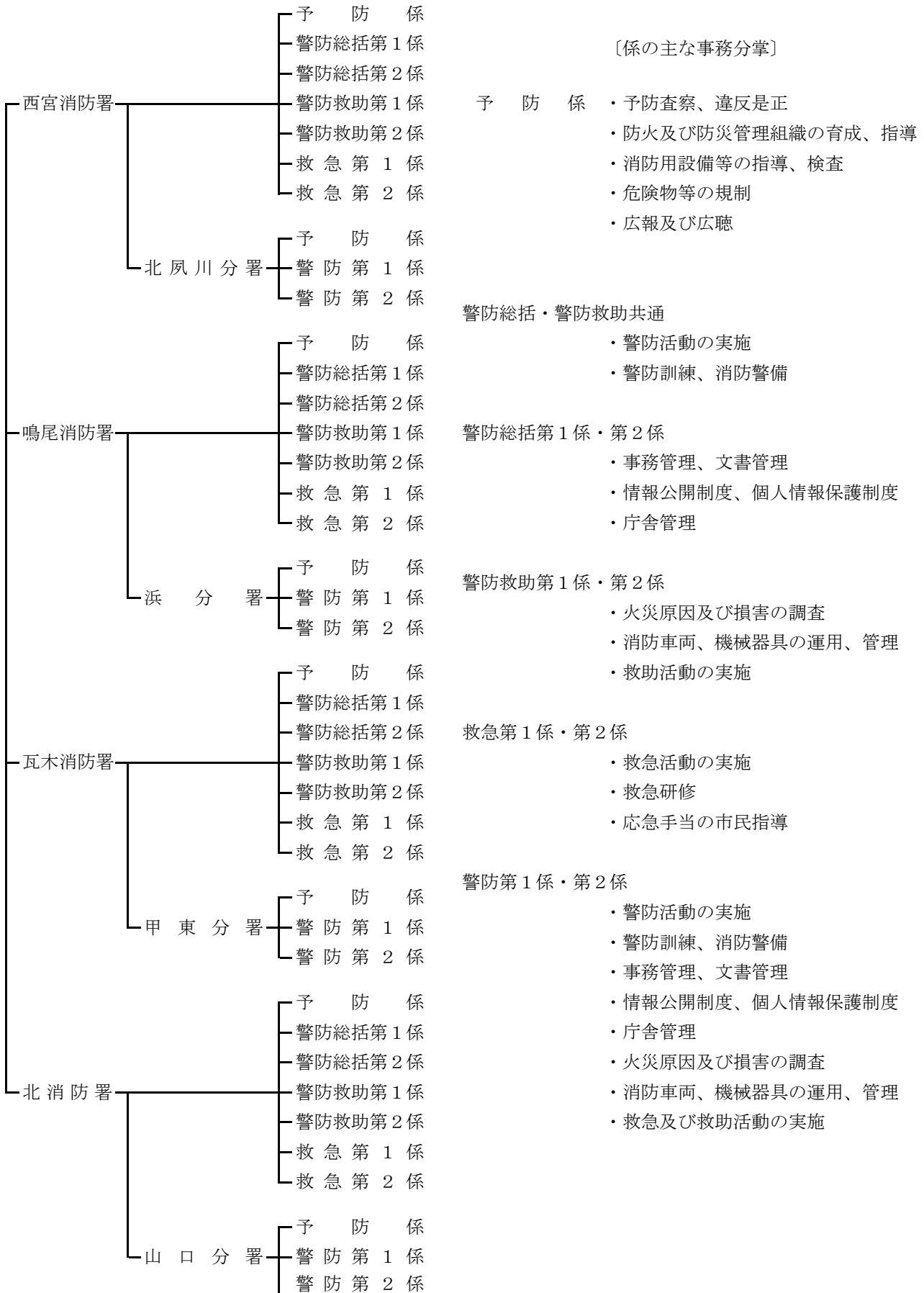
(平成30年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(平成30年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(平成30年 4月 1日現在)

所 属 区 分	消 防 局								西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部				本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署	
		部 長	総 務 課	企 画 課	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課									
配 置 人 員 (うち女性)	1	1	11	7	1	7 (1)	22	20	5 (1)	65 (2)	38	59 (1)	28	48 (1)	28	52 (1)	28
小 計 (うち女性)	1	19			55 (2)				103 (2)	87 (1)	76 (1)	80 (1)					
計 (うち女性)	421 (7) (派遣職員28名を除く)																

年 度 別 職 員 数 状 況

(平成30年 4月 1日現在)

年 度 区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	職 員 数	435	440	441	446	439	443	434	441
採 用	39	30	24	30	16	17	14	18	23
退 職	24	23	25	23	13	23	11	15	

※職員数は職員の出向による増減を含む

職 員 年 齢 状 況

(平成30年 4月 1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	6	51	85	112	66	48	36	25	20

※ 職員平均 35歳0月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(平成30年 4月 1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	85	135	69	45	48	30	22	15	0

※ 職員平均 13年0月

消 防 庁 舎 の 概 要

(平成30年4月1日現在)

庁 舎 名	所 在 地	建築年月	構 造	敷地面積	延 面 積
消 防 局	西宮市池田町13番3号	平成8.3 (1996.3)	鉄筋コンクリート造 6階建	2,513.71㎡	2,373.78㎡ (応急診療所除く)
消 防 局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目5番地	昭和62.3 (1987.3)	鉄骨造 折版葺 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西 宮 消 防 署	西宮市津門大塚町1番38号	昭和41.1 (1966.1)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建	1,450.31㎡	1,814.84㎡
西 宮 消 防 署 北 夙 川 分 署	西宮市松風町4番4号	昭和59.3 (1984.3)	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴 尾 消 防 署	西宮市古川町2番12号	昭和55.3 (1980.3)	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		平成23.2 (2011.3)	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴 尾 消 防 署 浜 分 署	西宮市西宮浜3丁目5番地	平成11.10 (1999.10)	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦 木 消 防 署	西宮市高木東町15番11号	昭和63.9 (1988.9)	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	1,280.96㎡ (2,152.73㎡)
瓦 木 消 防 署 甲 東 分 署	西宮市上ヶ原一番町1番64号	平成30.1 (2018.1)	鉄骨造 2階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北 消 防 署	西宮市名塩新町7番地1	平成3.3 (1991.3)	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北 消 防 署 山 口 分 署	西宮市山口町下山口4丁目1番20号	昭和60.3 (1985.3)	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡
消防待機宿舎	西宮市津門大塚町1番38号	昭和43.3 (1968.3)	鉄筋コンクリート造 5階建 (5階部分のみ)	548.11㎡	198.59㎡ (1,094.54㎡)

消防自動車等保有状況

(平成30年4月1日現在)

車種別 所属別		合 計	ポ	タ	は	化	救	活	救	司	指	指	査	人	防	連	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
			ン プ 車	ン ク 車	し ご 車	学 車	助 工 作 車	動 支 援 車	急 車	令 車	揮 車	揮 広 報 車	察 広 報 車	員 搬 送 車	火 指 導 車	絡 車	
計		76	8	9	4	2	4	16	13	1	2	3	8	2	1	3	20
消防局	消防局	10						4		1	1			1	1	2	2
	整備センター	8	(1)	(1)		(1)		1	(3)							1	1
西宮	本署	10	1	1	1		1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				2
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6		1				2	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1	1	1	1	1			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				2
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

() は非常用車両

消防情勢の推移

(平成30年4月1日現在)

区 分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消(防 条 例 職 員 定 数 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成16年	448,967	189,322	100.18	359	69	85	50,034	17,079	335
平成17年	453,122	192,103	100.18	359	69	153	431,465	18,261	324
平成18年	463,844	198,996	100.18	359	69	128	92,128	18,461	216
平成19年	468,831	202,500	100.18	426	70	158	79,116	18,964	217
平成20年	472,679	205,565	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年	484,152	220,123	100.18	522	76	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(平成30年4月1日現在)

署別	区分	家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織
		クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)
西宮消防署	小計	5	81	3	129			53
	本署	5	81	2	95			28
	北夙川			1	34			25
鳴尾消防署	小計	2	21	4	348	1	26	31
	本署	2	21	4	348	1	26	15
	浜							16
瓦木消防署	小計	2	38	3	204			70
	本署	1	20	2	178			30
	甲東	1	18	1	26			40
北消防署	小計	3	75	4	207			46
	本署	2	60	2	89			33
	山口	1	15	2	118			13
合計		12	215	14	888	1	26	200

消防協力隊結成状況

(平成30年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	森永乳業株式会社 近畿工場	18
2	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
3	新明和工業株式会社	10
4	JFEアドバンテック株式会社	10
5	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
6	日本盛株式会社	10
7	株式会社指月電機製作所	34
8	住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社	10
9	極東開発工業株式会社	39
10	大関株式会社	80
11	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	61
12	辰馬本家酒造株式会社	6
13	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	151
14	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
15	医療法人 明和病院	10
16	鳴尾浜連絡会	300
17	株式会社甲子園オートセンター	10
18	阪急バス株式会社 山口営業所	10
19	読売ゴルフ株式会社	16
20	西宮浜産業団地協議会	741
21	一般社団法人 西宮市医師会	10
22	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
23	学校法人 関西学院	100
24	阪神流通センター協同組合連合会	97
25	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
26	株式会社 戸崎組	10
合計	26団体 (事業所)	1,868

消 防 水 利 の 状 況

(平成30年4月1日現在)

種 別			区 分	平 成 28年度末	平成29年度			所 属 別			
					増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満		1,928	4		1,932	741	431	457	303
		150mm以上		1,899	11		1,910	658	492	510	250
	私 設			173			173	13	83	71	6
	工 水			95			95	26	69		
小 計				4,095	15	0	4,110	1,438	1,075	1,038	559
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満		58	1		59	18	11	12	18
		40m ³ 以上		385	1		386	96	80	77	133
		60m ³ 以上		6			6	2	1	2	1
		100m ³ 以上		46			46	16	13	8	9
	私 設	40m ³ 未満		29			29	12	4	7	6
		40m ³ 以上		851	3		854	281	268	235	70
		60m ³ 以上		65	2		67	25	25	13	4
		100m ³ 以上		74	1		75	15	40	15	5
小 計				1,514	8	0	1,522	465	442	369	246
消 防 用 水	40m ³ 未満			1			1		1		
	40m ³ 以上			17			17	2	9		6
	60m ³ 以上			19			19	6	11	1	1
	100m ³ 以上			28			28	3	9	14	2
井 戸	公 設			18		1	17	7	10		
	私 設			11			11	3	8		
貯 水 槽	公 設										
	私 設			118		1	117	59	23	27	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽			25			25	13	5	4	3
	河 川			84	2		86	31	12	32	11
	海 水			8			8		8		
	池			19		1	18	6	5	2	5
	プ ー ル			84		1	83	23	28	24	8
	マンホール			1			1		1		
	溝 水			0			0				
合 計				6,042	25	4	6,063	2,056	1,647	1,511	849

開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数		29		水利あり		水利なし		開発事前協議			159	
				11		18						
消 防 水 利												
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利					
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	ブ 採 水 ル 口	池	そ の 他		
小計	2		4	4	2							
合計	12											

消防相互応援協定締結状況(その1)

(平成30年4月1日現在)

名 称		7市1町消防相互応援に関する覚書	兵庫県道高速北神戸線上の消防応援に関する覚書
締結都市等		尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	宝 塚 市
締結年月日		平成13年3月1日	平成15年4月21日
応援災害種別		火災、救急、水災、その他災害	火災・救急救助
応援区域		各市町全域	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかる区域
応援方法	通常応援	1 区 域 市町境界及びその周辺 2 内 容 自動的に必要消防隊が応援	1 区 域 7号北神戸線上り線のうち西宮山口ジャンクションの中国自動車道下り線との分岐点から西宮山口東料金所までの区域 (宝塚市応援) 2 内 容 自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援
	特別応援	1 区 域 全域 2 内 容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1 区 域 上記道路のうち西宮市域 2 内 容 西宮市消防長の要請により必要消防隊が応援
経 費 負 担		応援市町負担 1 公務上の災害補償費 2 応援職員の旅費及び出動手当 3 車両及び機械器具の燃料費及び修理費 4 被服の損料等 5 交通事故等における損害賠償費等 被応援市負担 1 車両及び機械器具の燃料費（現地で調達したもの。） 2 宿泊費及び食料費 3 化学消火剤等資機材費 4 現場活動中に第三者に与えた損害賠償費等 5 賞じゅつ金等 上記以外は応援市町、被応援市町双方が協議して定める	

消防相互応援協定締結状況(その2)

(平成30年4月1日現在)

兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線（3号神戸線）上並びに兵庫県道高速湾岸線（5号湾岸線）上の消防相互応援に関する覚書		名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書（同覚書）
尼 崎 市	芦 屋 市	尼崎市・豊中市
平成6年3月15日	平成6年3月25日	昭和39年8月31日（協定） 昭和39年9月5日（覚書）
火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急救助
阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかる区域	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかる区域	西宮インターチェンジ、豊中インターチェンジ間の名神高速道路上
<p>1 区 域</p> <p>(1) 3号神戸線上り線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎西ランプウェイまでの間 5号湾岸線上り線のうち西宮市と尼崎市の境界から尼崎末広ランプウェイまでの間 (西宮市応援)</p> <p>(2) 3号神戸線下り線のうち尼崎市と西宮市の境界から西宮ランプウェイまでの間 5号湾岸線下り線のうち尼崎市と西宮市の境界から甲子園浜ランプウェイまでの間 (尼崎市応援)</p> <p>2 内 容</p> <p>自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援</p>	<p>1 区 域</p> <p>(1) 3号神戸線下り線のうち芦屋市域に係る区域 5号湾岸線下り線のうち西宮市と芦屋市の境界から南芦屋浜ランプウェイまでの区域 (西宮市応援)</p> <p>(2) 3号神戸線上り線のうち芦屋市と西宮市の境界から武庫川ランプウェイまでの区域 (芦屋市応援)</p> <p>2 内 容</p> <p>自動的に消防隊又は救急隊若しくは救助隊1隊が応援</p>	<p>1 区 域</p> <p>(1) 区域内の火災・救急事故を覚知したとき</p> <p>(2) 火災等発生地消防長から応援要請があったとき</p> <p>2 内 容</p> <p>必要消防隊が応援</p>
<p>1 区 域</p> <p>上記道路のうち尼崎市域と西宮市域</p> <p>2 内 容</p> <p>火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	<p>1 区 域</p> <p>上記道路のうち芦屋市域と西宮市域</p> <p>2 内 容</p> <p>火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援</p>	
		応援に要する経費は、応援市負担

消防相互応援協定締結状況(その3)

(平成30年4月1日現在)

名 称		神戸市・西宮市消防相互応援協定 (同覚書)	中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定 (同覚書)	大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定 (同覚書)
締結都市等		神戸市	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市
締結年月日		平成19年1月18日 (協定)	平成29年2月6日 (協定)	平成26年1月31日 (協定)
		平成19年1月18日 (覚書)	平成29年2月6日 (覚書)	平成26年1月31日 (覚書)
応援災害種別		火災・救急救助等	火災・救急	火災・救急救助
応援区域		西宮市、神戸市域	中国道のうち兵庫県の区域	各市全域
応援方法	通常応援	1 区域 (1) 北区道場のうちJR福知山線以南に係る区域、北区八多町のうち県道市野瀬有馬線以北及び上小名田以東に係る区域、北区菖蒲が丘、西山、京地、藤原台北町、藤原台中町、藤原台南町、有野町のうち県道市野瀬有馬以北に係る区域、有野台、東有野台、有馬町、3号神戸線下り線のうち深江ランプウェイ以東、7号北神戸線上り線のうち有馬口ランプウェイ以東の神戸市域に係る区域 (西宮市応援) (2) 山口町、北六甲台、すみれ台、5号湾岸線上り線のうち西宮浜ランプウェイ以西、7号北神戸線下り線のうち西宮山口南ランプ以西の西宮市域に係る区域	1 区域 上り線のうち西宮市と宝塚市の境界から宝塚インターチェンジまでの間及び下り線のうち西宮市と神戸市の境界から神戸三田インターチェンジまでの間 2 内容 火災又は救急事故等を覚知した場合消防隊又は救急隊が応援出動	
	特別応援	1 区域 全域 2 内容 火災等発生地消防長の要請により必要消防隊が応援	1 区域 全域 2 内容 大火災又は集団災害が発生した場合火災等発生地消防長又は被応援市町等の要請により必要消防隊が応援	1 区域 全域 2 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊が応援
経費負担		応援市負担 1 公務災害に要する経費 2 旅費及び出動手当 3 被応援市との間の移動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 4 被服の損料など 5 上記以外の人件費その他の経費 被応援市負担 1 応援活動中に調達した車両及び機械器具の燃料費 2 宿泊費及び食料費 3 車両及び資器材の修理費 4 特別に必要な車両及び機械器具の修理費 5 賞じゅつ金、賞慰金 6 応援活動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 7 化学消化薬剤等の資機材費 上記以外の応援市、被応援市双方が、協議して定める	応援市負担 1 消防職員の公務災害補償 2 車両及び機械器具等の燃料費等 3 旅費及び出動手当 4 車両及び機械器具の修理費 5 被服の損料等 6 交通事故における損害賠償費等 被応援市町等負担 1 化学消火薬剤費等 2 現場活動中において第三者に与えた損失補償 3 交通事故による損害賠償等 上記以外は応援市町、被応援市町双方が協議して定める	応援市負担 1 消防機械器具の小破損の修理費 2 車両、資器材等の燃料費 3 職員の出場手当及び被服等についての諸経費 4 応援隊員の公務災害補償費 被応援市負担 1 前号に定める小破損の程度を超える消防機械器具の修理費 2 車両資器材等の燃料費及び化学消火に要した薬剤費 3 被応援市の指揮下における活動中に発生した事故の諸経費 (1) 建築物、工作物又は土地に対する補償費等 (2) 応援隊員の賞じゅつ金、特別救慰金及び弔慰金等 (3) 一般人の死傷に対する補償費等

消防相互応援協定締結状況(その4)

(平成30年4月1日現在)

兵庫県広域消防相互応援協定	山陽自動車道消防相互応援協定 (同覚書)	近畿自動車道名古屋神戸線（新名神高速道路）のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定（同覚書）
阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	川西市、猪名川町、宝塚市、西宮市、三田市、神戸市
平成29年1月13日（協定）	平成30年4月1日（協定）	平成30年3月18日（協定）
平成29年1月13日（覚書）	平成29年2月6日（覚書）	平成30年3月18日（覚書）
火災・救急救助	火災・救急救助	火災・救急
兵庫県下	神戸ジャンクションから備前インターチェンジまでの区間（三木ジャンクションから神戸西インターチェンジまでの区間及び播磨自動車道を含む）	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域内応援 第2条に規定する地域内の市町等に対する応援 2 県内応援 前号に規定する地域以外の市町等に対する応援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 区域 下り線のうち神戸ジャンクションの中国自動車道下り線との分岐点から神戸北インターチェンジまでの区間 2 内容 自動的に消防隊又は救急隊が応援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 区域 神戸ジャンクションのうち、中国自動車道下り線との分岐点から、新名神高速道路上り線に合流するランプ出口までの区間 2 内容 火災又は救急事故等を覚知した場合消防隊又は救急隊が応援出動
<ol style="list-style-type: none"> 1 区域 全域 2 内容 火災等発生地消防長の要請又は地域の代表消防本部を通じ必要消防隊が応援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 区域 全域 2 内容 災害発生地消防長の要請により必要消防隊等が応援 	<ol style="list-style-type: none"> 1 区域 全域 2 内容 災害発生地消防長又は応援出動した市町の消防長の要請により消防隊等が応援
<p>応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公務災害補償に要する経費 2 旅費及び出動手当 3 被応援市等との間の移動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 4 被服の損料等 5 上記以外の人件費その他の経費 <p>被応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 応援活動中に調達した車両及び機械器具の燃料費 2 宿泊費及び食料費 3 当該応援のために特別に必要な車両及び機械器具の修理費 4 賞じゅつ金、賞慰金 5 応援活動中に第三者に与えた損害の賠償に要する経費等 6 その他応援活動中に調達した化学消火薬剤等の資機材費 	<p>応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公務上の災害補償 2 旅費及び出動手当 3 車両及び機械器具等の燃料費及び修理費 4 現場活動中第三者に生じた損失補償（通常応援時） 5 応援途上の交通事故による損害賠償 <p>被応援市等負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 化学消火薬剤 2 現場活動中第三者に生じた損失補償 <p>上記以外は、応援市等と被応援市等が協議して定める</p>	<p>応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公務上の災害補償 2 車両及び機械器具等の燃料費並びに現場活動中における故障又は小破壊の修理費 3 旅費及び出動手当 4 受援市町への往復途上における交通事故による損害賠償 <p>被応援市負担</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 化学消火薬剤費等 2 現場活動中において第三者に与えた損失補償 <p>上記に定めるもののほか、必要な経費については、応援市町と受援市町が協議する</p>

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



瓦木消防署



西宮消防署



西宮消防署北夙川分署



西宮市消防局



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署



鳴尾消防署



総

務



消防出初式

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過した救助工作車1台と高規格救急自動車2台を更新、資機材では、特殊災害資機材一式と緊急消防援助隊資機材一式を整備し、消防力の充実強化を図った。

消防庁舎等整備事業では、瓦木消防署甲東分署の建設工事を完了させ、運用開始するとともに、消防訓練施設の建設工事に着手した。また、西宮消防署の建替基本計画策定等を実施した。

消防団車両等整備事業として、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車3台を更新し、消防団車庫整備事業では、船坂分団車庫改築工事を実施し、消防団の体制整備に努めた。

救急業務高度化推進事業として、4名を救急救命士養成所に派遣するとともに、21名に拡大二行為認定救急救命士、5名に気管挿管認定救急救命士、5名にビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管認定救急救命士の資格などを取得させ、救急体制の充実に努めた。

通信指令業務として、消防緊急情報システムの部分更新を実施し、署活動用無線機21台を更新、5台を増台した。

2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校、兵庫県消防学校及び消防局各課が計画する各種専門研修等へ積極的に消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣し、潜水士等の資格を取得させた。加えて、市研修厚生課主管の基本研修等へも多数の消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した平成29年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、教養研修等の職場研修も積極的に行い、職員個々の能力開発に努めた。

3 文書管理

文書事務の管理については、消防文書取扱規程及び文書分類表に基づき、文書事務及び公印管理の適正化に努めるとともに、文書管理システムを活用し文書事務の能率化・迅速化を図り、文書管理体制の充実を図った。

4 消防音楽隊

昭和63年度に隊長以下19名で発足した消防音楽隊は、平成30年4月1日現在、隊長以下26名が消防広報のため、市民に対して年間25回の演奏活動を実施した。

また、消防音楽隊30周年に伴い、神戸市消防音楽隊と姫路市消防音楽隊が参加し、「西宮市消防音楽隊発足30周年演奏会」を挙行了た。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

年 度	平成30年度	平成29年度	増 減
区 分			
消防費	6,002,811	6,320,530	△ 317,719
消 防 費	4,769,048	4,936,539	△ 167,491
職 員 の 給 与 費	4,132,767	4,283,600	△ 150,833
消防庁舎維持管理事業経費	114,049	111,767	2,282
消防音楽隊運営事業経費	1,303	1,483	△ 180
消防職員研修事務経費	28,442	25,248	3,194
消防局車両運用事務経費	66,758	66,328	430
予防活動推進事業経費	1,791	4,435	△ 2,644
通信指令業務経費	255,742	242,232	13,510
消防水利維持管理事業経費	36,637	69,326	△ 32,689
救助活動業務経費	9,971	8,124	1,847
消防活動業務経費	22,381	27,084	△ 4,703
救急活動業務経費	28,221	30,565	△ 2,344
一 般 事 務 経 費	71,006	66,347	4,659
消 防 団 費	140,289	140,180	109
消防団設備維持管理事業経費	9,207	7,012	2,195
消防団運営事業経費	131,082	133,168	△ 2,086
消防施設整備費	1,060,799	1,211,150	△ 150,351
消防局車両等整備事業費	289,585	210,777	78,808
消防団車両等整備事業費	52,812	52,208	604
通信施設等整備事業費	0	0	0
消防団車庫整備事業費	149,557	74,658	74,899
消防庁舎等整備事業費	568,845	873,507	△ 304,662
水 防 費	32,675	32,661	14
水防対策事業経費	12,675	12,661	14
水防作業従事手当経費	20,000	20,000	0

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

年度別		区 分	市一般会計	消防費	比 率
			(千 円)	(千 円)	(%)
平成21年度	当 初 予 算		158,354,977	5,293,139	3.34
	決 算		163,832,939	5,222,045	3.19
平成22年度	当 初 予 算		161,079,538	5,703,834	3.54
	決 算		156,335,216	5,663,785	3.62
平成23年度	当 初 予 算		174,070,674	5,573,122	3.20
	決 算		168,705,404	5,558,958	3.30
平成24年度	当 初 予 算		159,721,161	5,306,979	3.32
	決 算		157,631,649	5,304,986	3.37
平成25年度	当 初 予 算		160,941,007	5,741,263	3.57
	決 算		161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算		167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算		167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算		174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算		170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算		174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算		166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算		176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算		(未決算)	(未決算)	(未決算)
平成30年度	当 初 予 算		178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算		—	—	—

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

年度別	区 分 消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
				市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成21年度	5,293,139	474,779	207,768	11,149	25,476
平成22年度	5,703,834	477,270	209,876	11,951	27,177
平成23年度	5,573,122	478,538	211,317	11,646	26,373
平成24年度	5,306,979	479,014	212,781	11,079	24,941
平成25年度	5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925
平成26年度	6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412
平成27年度	5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514
平成28年度	5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798
平成29年度	6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821
平成30年度	6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(平成29年度中)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員		
研 修 名										
消 防 大 学 校	総 合 教 育 幹 部 科	1		1						
	専 科 教 育 予 防 科	1		1						
	緊急消防援助隊教育科 特別高度救助コース	1			1					
	消 防 大 学 校 フ ォ ー ラ ム	1		1						
県 消 防 学 校	初 任 教 育	18					18			
	専 科 教 育	救 助 科	2				2			
		救 急 科	16					16		
		特 殊 災 害 科	2			2				
		初 級 幹 部 科	2				2			
		予 防 査 察 科	2				1	1		
		火 災 調 査 科	2			2				
	そ の 他	特 別 教 育 災 害 現 場 指 揮 科	3		3					
		そ の 他	惨 事 ス ト レ ス 研 修	2	2					
			山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	2					2	
			ポ ン プ 操 法 研 修	1			1			
		通 信 担 当 者 研 修	1			1				
		救 急 救 命 士 養 成 課 程	4				4			
		指 導 救 命 士 養 成 研 修	1		1					
	救 急 救 命 士 追 加 講 習	21			7	14				
神 戸 市 消 防 学 校	特 別 高 度 救 助 課 程	1			1					
全 消 長 会	消 防 長 研 修 会	1	1							
	消 防 財 政 実 務 研 修	2		1		1				
全 消 協 会	消 防 実 務 講 習 会	3		3						
	消 防 職 員 安 全 衛 生 管 理 研 修 会	2	1	1						
	消 防 職 員 の た め の 惨 事 ス ト レ ス の 理 解 と 予 防 (ス テ ッ プ ア ッ プ 版) 研 修	2		2						
	第 1 種 衛 生 管 理 者 講 習 会	3	1	2						
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習	3				1	2			
	玉 掛 け 技 能 講 習	3					3			
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 運 転 技 能 講 習	4				2	2			
	2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会	2				2				
	大 型 自 動 車 1 種 免 許 取 得 の た め の 教 習 所	1				1				
	中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 8 t 限 定 解 除 の た め の 教 習 所	4				1	3			
	中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 の た め の 教 習 所	4				1	3			
	2 級 ガ ソ リ ン 自 動 車 整 備 士 免 許 取 得 の た め の 講 習 会	1			1					
	潜 水 士	2					2			
	低 圧 電 気 取 扱 い 作 業 に 関 す る 特 別 教 育 講 習	1				1				
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習	1				1				
	有 機 溶 剤 作 業 主 任	1				1				
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 管 理 責 任 者 に 関 す る 講 習 会	2		1		1				
	職 員 採 用 に お け る 課 題 と そ の 解 決 策	1				1				
	違 反 是 正 阪 神 ブ ロ ッ ク 部 会	4				4				
	危 険 物 事 故 防 止 セ ミ ナ ー	1		1						
	危 険 物 保 安 技 術 講 習 会	1			1					
	危 険 物 施 設 安 全 推 進 講 演 会	1			1					
	「建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2016」 フ ォ ロ ー ア ッ プ セ ミ ナ ー	1			1					

違反是正事例研究会	3			3			
違反是正事例発表会	4		2	1		1	
日本火災学会研究発表会	1			1			
地下タンク等定期点検技術者講習・初回講習	1			1			
危険物事故事例セミナー	1		1				
平成29年度安全講演会	2		1	1			
大阪湾・播磨灘排出油等防除協議会神戸地域部会による海上防災に関する講演会	1		1				
企業防災対策指導研修	3	1		2			
危険物等事故防止ブロック連絡会議	1	1					
危険物施設総合研修訓練	2	1		1			
平成29年度予防技術講習会	9		1	5	3		
消防防災研究講演会	1		1				
危険物等安全管理研修会	1			1			
防火設備検査員講習	1			1			
特殊消防設備等講演会	10		1		4	5	
技術セミナー「やさしく学べる建築法規シリーズ/建築物の防火・避難施設編」	1			1			
平成29年度消防用設備等セミナー	7		1		2	4	
火災科学セミナー	4		3	1			
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2017	6		1	4	1		
建築防火・防災講演会	1		1				
パッケージ型自動消火設備消火実験	18		2	4	4	8	
兵庫県フェニックス防災システム研修	2				2		
大阪市消防局指令情報センター実務研修	2			1	1		
調査技術会議	5			5			
レスキュー3ジャパン・スィフトウォーターレスキューコース	2				2		
安全運転管理者等講習	10	9	1				
整備主任者研修	4				2	2	
消防・救急緊急自動車ドライバー安全運転研修	2				1	1	
火災調査担当者会議	1		1				
名神高速道路防災研修会	4		3		1		
高速自動車道消防協議会研修会	2		2				
平成29年度阪神高速道路消防協議会研修会	2		1		1		
第56回火災科学セミナー	2		1	1			
大阪市消防局方面隊実務研修	1		1				
大阪市消防局火災調査研修	1				1		
国際消防救助隊セミナー	1			1			
航空機連携講習会	2		2				
平成29年度兵庫県下消防長会火災調査研究会	21		2	6	4	9	
平成29年度大阪市火災調査事例発表会	1				1		
平成29年度第11回京都府火災調査業務研究会	1				1		
平成29年度第9回大阪府下消防長会火災調査事例発表会	1			1			
第65回全国消防技術者会議	1				1		
平成29年度兵庫県下原因調査担当者会議	2		1	1			
日本臨床救急医学会	2		2				
近畿救急医学研究会救急隊員部会	30	1	9	11	5	4	
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会救急隊員研修会	40		4	13	16	5	2
西宮市医師会ICLSコース	6			1	2	3	
兵庫JPTECプロバイダーコース	2					2	
救急隊と訪問看護師との連携に向けた研修会	5		2	2	1		
救急特別研修会	2		1	1			
阪神地区消防長会救急隊員研修会	380		27	78	107	153	15
全国救急隊員シンポジウム	4		1	2	1		
合計	754	16	97	170	205	247	19

(派遣研修) その2

(平成29年度中)

研修名	階 級	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
係長第1部研修(前期)		8		8				
課長第1部研修(春期)		4	4					
係長第2部研修		4		4				
課長第2部研修		2	2					
係長第1部研修(後期)		4		4				
課長第1部研修(秋期)		1	1					
係長法律研修		8		8				
パワーアップ派遣研修		1		1				
庶務研修		11		2	6	3		
ステップアップ研修(必修)		33				4	29	
ステップアップ研修(選択)		14			3	4	7	
効果的な広報ビラ(チラシ)の作り方研修		1				1		
自殺対策事業ゲートキーパー研修		2		1			1	
ホームページCMS研修		10		2	5	2	1	
ホームページアクセシビリティ研修		8	2	1	4	1		
新ホームページCMS操作研修		21		3	4	10	4	
係長級以上職員ライン研修		4		4				
職員研修(尼崎市主催)		4		4				
職員研修「危機発生時のマスコミ対応」		2		2				
参画と協働に係る職員研修		1				1		
特別企画研修		3		1	1	1		
西宮まちづくり塾「公共サインそのあり方を考える」		5		3	1	1		
認知症サポーター養成講座		3		1	2			
公務員倫理指導者養成研修		1	1					
人権を考える市民のつどい		2			1	1		
人権問題講演会「みんなちがって、みんないい」		2				1	1	
パソコン研修		5		1		1	3	
マイナンバー制度職員研修		1		1				
男女共同参画講演会		1			1			
政策形成力育成研修プレセミナー		1		1				
内部統制研修会		27	21	4	2			
障害者差別解消法施行に関する研修		1		1				
再任用職員予定者研修		5			1	3	1	
男女共同テーマ研修 「居場所」のない男、「時間」がない女		1			1			
インテリジェントアレー撰壇塾(前期)		14		3	5	4	2	
インテリジェントアレー撰壇塾(後期)		12		3	4	2	3	
クレーム対応力向上研修		1		1				
メンタルヘルス研修(阪神南県民センター主催)		1				1		
兵庫県市町振興課実務担当者研修 (市町栄典事務担当職員研修)		1				1		
人権問題講演会「誰も傷つけない本当の笑い」		3		1	1		1	
政策法務研修～政策法務ゼミナール～		1			1			
犯罪被害者等支援に係る職員研修		3		2	1			
合 計		237	31	67	44	42	53	

(職場研修)

(平成29年度中)

研修名	階 級	実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条件付採用時研修	1	18					18	
	新任課長特別研修	1	2	2					
	採用後定時研修(3年目)	2	16					16	
	採用後定時研修(5年目)	2	20				2	18	
	職務研修	2	40			23	17		
	平成29年度採用者に対する特別研修	1	18					18	
	再任用予定者研修	1	5			1	3	1	
	昇任予定者研修	3	27			3	10	14	
	評価者研修	1	21	1	20				
	メンタルヘルス研修	2	60		6	17	37		
平成29年度採用者(救急救命士資格取得者)の救急研修	1	2					2		
企画課	財務会計システム取扱研修	2	30		4	12	14		
	ホームページCMS研修	1	9			2	3	4	
予防課	予防実務研修	1	14				13	1	
	火災予防行政執行能力向上研修	1	57	4	6	10	11	26	
	予防事務調査研究会	4	112		2	11	13	86	
指令課	通信研修(電話対応研修)	2	32	2	5	6	12	7	
	新規指令課異動者研修	1	8	1	2	1	4		
	マニュアル指令訓練	2	26	2	6	5	11	2	
	分散受信訓練	2	22	2	6	4	9	1	
	非常招集伝達訓練	4	170	18	50	44	48	6	4
警防課	新規小隊長研修	2	13				13		
	潜水士資格取得者実技研修	5	10					10	
	整備研修	17	17				1	16	
	安全運転講習会	2	139			19	60	60	
	認定機関員節目研修	2	19				6	13	
	新規救助隊長研修	1	3				3		
	火災調査研修	7	133		11	16	47	59	
	開発指導及び検査研修	2	36			6	7	23	
	警防活動研修	2	40			8	8	24	
特殊災害訓練	2	74		5	15	23	31		
救急課	救急救命士就業前研修	1	5				2	3	
	救急救命士定期研修	1	62		8	20	24	10	
	救急救命士事前研修	2	5				1	4	
	集合型救急研修	4	66		7	19	27	13	
	地域包括ケアシステムに関する救急隊員研修会	1	14	1	6	3	4		
	救急隊員現場実習研修	50	153		12	40	55	46	
	新規救急小隊長研修	1	7				7		
合計		139	1,505	33	156	285	495	532	4

消防吏員階級別資格取得状況

(平成30年4月1日現在)

階 級			合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士		
種 別										
消 防 吏 員 数			449	21	61	89	106	172		
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	44	9	7	16	7	5		
		乙 種	98	14	16	20	25	23		
	点 検 資 格 者	1 種	1					1		
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	8			2	4	2		
		乙 種	355	22	32	69	113	119		
		丙 種	49	15	18	5	8	3		
	予 防 技 術 資 格 者	防火査察専門員		40	2	9	13	9	7	
		消防用設備等専門員		28	2	8	8	7	3	
		危険物専門員		33	2	10	13	3	5	
通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		426	21	61	89	106	149		
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	450	204	8	46	61	55	34
			2 種		1			1		
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	245	13	15	28	51	138	
			2 種	18	2	6	8		2	
	自 動 車 整 備 士	2 級		8		1	5	2		
		3 級		26	1	8	8	8	1	
救 急	救 急 隊 員		426	21	61	89	106	149		
	救 急 救 命 士		109	10	20	26	32	21		
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		50	1	13	24	12			
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		84	1	13	25	31	14		
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		46		7	20	16	3		
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		41		10	23	8			
	指 導 救 命 士		3		2	1				
救 助	救 助 隊 員		167			51	50	66		
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		113	10	20	33	37	13		
	潜 水 士		196	12	40	52	50	42		
	酸 欠 講 習 修 了 者		70		13	25	22	10		
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		73	11	26	21	14	1		
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		103	4	16	28	38	17		
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		3		1	1	1			
	小 型 船 舶 操 縦 士		2 級 (旧 4 級) 以上	85	5	26	27	14	13	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		36	17	18	1				
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		15	4	9	2				
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		9			4	5			

公務災害等発生状況

(平成29年度中)

区分	勤務態様別	発生件数	被災者数	階 級 別							傷 病 程 度 別							死 亡	
				消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	通 院			入 院				
												一 週 間 未 満	一 週 間 〱 一 月	一 月 〱 三 月	三 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 〱 一 月		一 月 〱 三 月
公 務 災 害	消 火																		
	現 場 活 動																		
	救 急	1	2						1	1									
	中 救 助																		
	訓 練 中	3	3																
	一 般 業 務 中																		
そ の 他																			
通 勤 災 害		2	2			1		1					1	1		1			
合 計		6	7			1		1	1	4			1	3	2	2			

消 防 表 彰 等 の 状 況

(平成29年度中)

種 別		個 人	団 体	
職 員	消 防 庁 長 官 表 彰	永 年 勤 続 功 労 章	2	
	兵 庫 県 知 事 表 彰	功 労 章	3	
		永 年 勤 続 功 労 章	7	
		救急医療・救急業務功労者表彰	1	
	全 国 消 防 長 会 会 長 表 彰	永 年 勤 続 功 労 者	3	
		消 防 長 感 謝 状	1	
	全 国 消 防 協 会 会 長 表 彰	全 国 優 良 消 防 職 員	1	
	市 医 師 会 会 長 感 謝 状	救 急 業 務 功 績	1	
	兵 庫 陸 運 部 長 表 彰	自 動 車 整 備 優 良 事 業 者 表 彰		1
	市 長 表 彰	永 年 勤 続 職 員	4	
	局 長 ・ 部 長 ・ 署 長 表 彰	勤 務 成 績 優 秀	20	
優 秀 機 関 員		33		
消 防 業 績 表 彰		1		
救 助 活 動 表 彰			6	
市 民	消 防 局 長 表 彰	人 命 救 助		1
		消 防 業 務 協 力	4	6

消防音楽隊の状況

(平成30年4月1日現在)

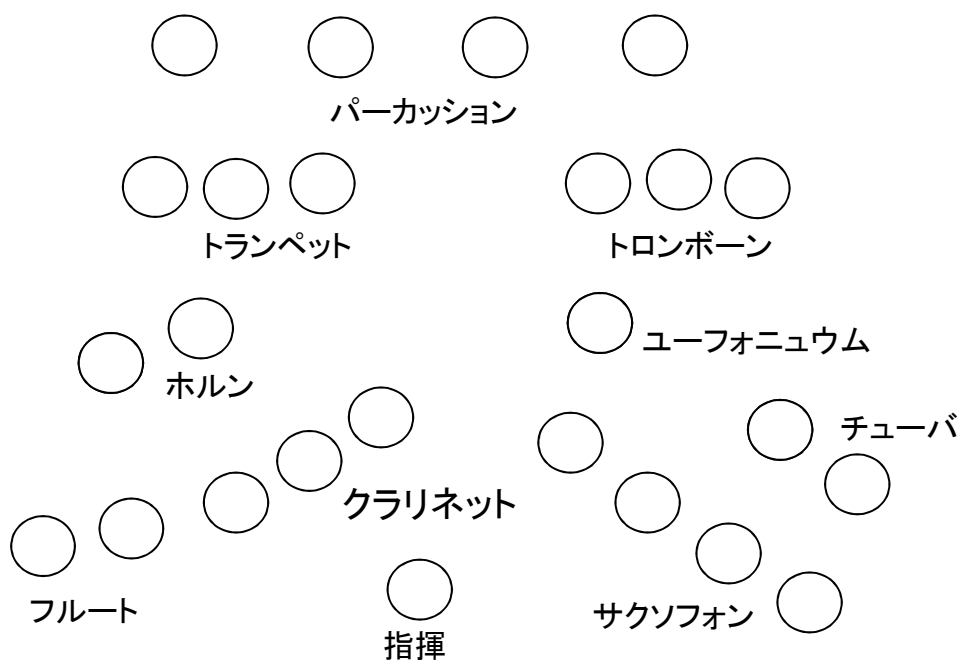
1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	7	8	7	3	26

2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォード	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	4	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ハーモニーディレクター	1	ティンパニ	5
ドラ	1		

3 消防音楽隊配置



4 出演状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	2	5	0	1	0	2	1	3	0	4	5	2	25

広報及び広聴



西宮市消防音楽隊30周年(自治体消防制度70周年)記念演奏会

広報及び広聴の概要

1 広報

安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の実態を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM放送、新聞その他広報媒体を活用し、消防広報の推進に努めるとともにウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・ツイッター等のSNSでも消防広報を実施した。

また、消防広報の効果をより高めるため、各種行事開催時に消防音楽隊の出演を通して広報活動を行った。

2 広聴

広聴については、市民からの要望・意見等を迅速かつ的確に処理し、消防への信頼確保に努めた。

広聴件数は、前年より9件減少し82件処理した。内訳は、総務7件、企画1件、予防24件、警防47件、救急3件となっている。

広報活動状況

(平成29年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	504	0	1,760	551時間15分
消 防 教 室	386	41,062	1,433	403時間50分
幼年消防クラブ活動	46	7,799	248	59時間50分
少年消防クラブ活動	6	154	29	9時間30分
家庭防火クラブ活動	21	369	52	44時間55分
自主防災組織	197	5,747	903	241時間05分
合 計	1,160	55,131	4,425	1310時間25分

資料配布及び刊行物発行

(平成29年度中)

項 目	部 数	対 象
ポ ス タ ー	1,134	防 火 対 象 物
防 災 小 冊 子	1,206	一 般 市 民 ・ 家 庭 防 火 ク ラ ブ ・ 自 主 防 災 組 織

広 聴 事 務 処 理 状 況

(平成29年度中)

区 分		年 間 (件)
事 務 分 掌 分 類	総 務	7
	企 画	1
	予 防	24
	指 令	
	警 防	47
	救 急	3
合 計		82

消 防 情 報 の 提 供 (報 道 機 関 等)

(平成29年度中)

情報提供先	区 分	合 計	予 防	警 防	救 急	そ の 他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ)		138	21	34	26	57
市広報紙等 (市政・庁内ニュース)		112	23	20	33	36
ホームページ		168	40	39	14	75
合 計		418	84	93	73	168

予 防 行 政



秋の火災予防運動に伴う消防局長査察

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器の設置による奏功事例を市民に広く周知し、設置を促進することで、住宅火災件数の減少及び死傷者の更なる軽減を図った。

また、高齢者の住宅に対しては、民生委員等の協力を得て住宅防災診断を行い、設置の指導を行った。

中学校における住宅用火災警報器の設置アンケートを引き続き実施し、生徒を通じて住宅用火災警報器の効果や有効性を意識付け、更なる設置を促進した。

既に設置している住宅に対しては、チラシ等の配布により適切な維持管理を呼び掛けた。

2 予防査察の充実強化

消防法令の違反対象物をはじめ、火災の発生時に人命危険が大きい防火対象物、長期にわたり立入検査が行われていない防火対象物に対して優先的に査察を行い、防火管理や消防設備の維持管理を徹底させることで市民の安全確保を図った。

特に、不特定多数の人が利用する特定防火対象物において、重大な違反対象物については、違反対象物に係る公表制度に基づき、市民等に周知させることで、利用者の安全を確保した。

危険物施設については、施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵又は取扱いが法令に定められた基準に適合しているかに着目し査察を行った。

重大な消防法令違反、違反の継続、又は火災が発生した場合に人命危険が大と判断されるものに対しては、早急に違反是正を行うことで、安全確保に努めた。

3 放火火災予防の推進

市政ニュース、ホームページ、などの広報媒体、住宅防災診断、消防教室、職員のラジオ出演等あらゆる機会を通じて、チラシ等の広報物の配布を行うなど、市民に対し放火されない環境づくりについて指導を行った。

4 多数の観客等が参加する催物に対する防火管理体制の徹底指導

地域における催しをはじめ、西宮神社「西宮十日えびす」、門戸厄神「厄除け大祭」等の指定催しの関係者等に対して、適宜立入検査を行い、各露店における消火準備や火気管理の徹底をさせるよう指導した。

また、指定催しの防火担当者に対しては、催しの実情にあった火災予防計画を作成させ、保安を確保させることにより、防火管理体制の徹底を図った。

5 火災原因調査結果に基づく予防広報の実施強化

市内で発生した火災の調査結果に基づき、警防課と情報共有し、注意喚起すべき内容について、ホームページ、チラシ等を用いて市民に広報し、火災予防意識を高めた。

防火対象物現況表

(平成30年4月1日現在)

用途別		防火対象物現況表	合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
合計			11,871	3,241	1,259	2,222	899	2,342	991	308	609
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	8	6							2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	15	11				1	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	7	4				1	1		1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	127	52	8	9	11	22	3	2	20
4項		百貨店・市場・マーケット等	237	68	21	40	18	54	13	4	19
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	27	5	1	6	1		8	3	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,296	1,562	776	1,183	282	1,498	666	165	164
6項	イ	病院・診療所・助産所	128	38	13	36	3	21	7	4	6
	ロ	老人短期入居施設等	118	23	5	16	12	25	7	8	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	157	45	15	30	13	27	7	6	14
	ニ	幼稚園・特別支援学校	81	17	11	12	4	23	9	3	2
7項		小・中・高・大・各種学校	451	45	48	126	34	75	104	12	7
8項		図書館・美術館等	16	2	2	1	7		3	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	4		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	11	5		3		2		1	
11項		神社・寺院・教会等	148	56	14	13	9	24	16	5	11
12項	イ	工場・作業場	394	101	8	90	110	30		8	47
13項	イ	自動車車庫・駐車場	259	59	14	73	56	24	1	12	20
14項		倉庫	460	67	4	81	115	23	3	7	160
15項		前各項に該当しない事業所	910	289	55	146	130	134	32	51	73
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,172	439	191	213	37	207	54	12	19
	ロ	イ以外の複合用途対象物	823	340	72	139	57	150	43	4	18
17項		重要文化財等	13	1					11		1
18項		50 m以上のアーケード	2	2							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(平成30年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	10	4	14	10	4	12	8	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	7	6	1	7	6	1	7	6	1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	116	73	43	102	67	35	99	65	34
4項		百貨店・市場・マーケット等	172	127	45	156	122	34	152	118	34
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	19	19		18	18		17	17	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,340	1,340		1,254	1,254		1,226	1,226	
6項	イ	病院・診療所・助産所	57	56	1	52	51	1	51	50	1
	ロ	老人短期入居施設等	97	97		93	93		92	92	
	ハ	老人デイサービスセンター等	101	90	11	97	86	11	97	86	11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	47	44	3	47	44	3	47	44	3
7項		小・中・高・大・各種学校	112	107	5	109	104	5	107	102	5
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	3	2	4	3	1	4	3	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	1	1		1	1		1	1	
11項		神社・寺院・教会等	72	55	17	62	49	13	60	48	12
12項	イ	工場・作業場	56	56		56	56		56	56	
13項	イ	自動車車庫・駐車場									
14項		倉庫	32	32		31	31		31	31	
15項		前各項に該当しない事業所	262	226	36	245	214	31	240	209	31
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	849	780	69	734	680	54	709	657	52
	ロ	イ以外の複合用途対象物	188	174	14	172	162	10	168	158	10
17項		重要文化財等									
合計			3,564	3,311	253	3,271	3,066	205	3,193	2,992	201

防火対象物査察・検査実施状況

(平成29年度中)

用途別		区分	査察状況		消防用設備検査	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	35	2	
	ロ	公会堂・集会場	8	8		
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	5		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	7	3		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	115	69	8	7
4項		百貨店・市場・マーケット等	234	152	26	27
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	32	2	2
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,288	2,118	259	196
6項	イ	病院・診療所・助産所	128	87	27	21
	ロ	老人短期入居施設等	110	297	81	86
	ハ	老人デイサービスセンター等	143	134	32	24
	ニ	幼稚園・特別支援学校	81	58	3	1
7項		小・中・高・大・各種学校	451	342	59	42
8項		図書館・美術館等	16	14	2	1
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	1		
10項		車両の停車場、船舶の発着場	11	5	1	1
11項		神社・寺院・教会等	145	73	7	3
12項	イ	工場・作業場	394	156	18	12
13項	イ	自動車車庫・駐車場	250	106	11	7
14項		倉庫	456	232	38	26
15項		前各項に該当しない事業所	892	518	95	60
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,170	692	190	169
	ロ	イ以外の複合用途対象物	822	294	59	45
17項		重要文化財等	13	18	2	2
18項		50m以上のアーケード	2	3		
合計			11,782	5,452	922	732

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

（平成30年4月1日現在）

用途別		区 分														合計 (棟)		
		5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	17～31階	10階以下で31m以上のもの			
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	1														1	2
	ロ	公会堂・集会場	1	1														2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場・ダンスホール															1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等																
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等		1														1
3項	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	5	1		1	1											8
4項		百貨店・市場・マーケット等	2															2
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1	1	1	2					1						7
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	701	362	254	82	48	66	59	23	20	46	31	3	9	13		1,717
6項	イ	病院・診療所・助産所	8	8	1						1	1					2	21
	ロ	老人短期入居施設等	12	6	1												1	20
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1														4
	ニ	幼稚園・特別支援学校																
7項		小・中・高・大・各種学校	33	7	2							1	1				5	49
8項		図書館・美術館等																
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの																
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																
10項		車両の停車場、船舶の発着場																
11項		神社・寺院・教会等	2	2														4
12項	イ	工場・作業場	15	6													4	25
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1		1	1											6	9
14項		倉庫	9	3	3												3	18
15項		前各項に該当しない事業所	41	14	4	1											7	67
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	151	59	30	12	5	3	1	1	3	3			8	3	279	
	ロ	イ以外の複合用途対象物	102	51	23	10	8	4	5	4		2	1		1	3	214	
17項		重要文化財等																
18項		50m以上のアーケード																
合 計 (棟)			1,088	523	320	108	64	73	65	30	25	52	32	3	18	49	2,450	

防火管理に関する講習の実施状況

(平成29年度中)

講習区分	講習回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	9	390
甲種防火管理再講習	1	9
防火防災管理新規講習	1	23

建築物確認申請等処理状況

(平成29年度中)

新築	増築	改築	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
363	13				8	82	466

12条報告・仮使用承認等処理状況

(平成29年度中)

処理別	所属別					合計
	消防局	西宮消防署	鳴尾消防署	瓦木消防署	北消防署	
12条報告等協議	8					8
仮使用承認の協議		1	5			6

危険物製造所等許可施設状況

(平成30年4月1日現在)

合 計		292	構成比(100%)
製 造 所		4	1.3%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	19.2%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	7	2.4%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	12	4.1%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	76	26.0%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11	3.8%
	屋 外 貯 蔵 所	4	1.4%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	84	28.8%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.7%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	36	12.3%

危険物製造所等類別許可施設状況

(平成30年4月1日現在)

区 分	種 別	合 計	種 別						混 在
			第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	
合 計		292	1			287	1	2	1
製 造 所		4				4			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	1			53	1		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	7				5		2	
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	12				12			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	76				76			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11				11			
	屋 外 貯 蔵 所	4				4			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	84				84			
	第 1 種 販 売 取 扱 所								
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	36				36			

所管別危険物施設等現況及び査察状況

(平成29年度中)

施設 区分		政 令 危 険 物													少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物		
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所							
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送			一 般	
所 管 別 施 設	合 計	292	4	56	7	12	76		11	4	84		2		36	507	134	
	西 宮	本 署	53		8	3	2	16		3	1	11		2		7	129	24
		北 夙川分署	7		1		1	2				2				1	26	
	鳴 尾	本 署	63	2	11		2	23				13				12	103	52
		浜 分署	75	2	19	2	4	11		2	2	21				12	89	27
	瓦 木	本 署	20		7			5				7				1	43	2
		甲 東分署	13		2	1	3	4				2				1	17	
	北	本 署	22		2	1		3		5	1	8				2	30	
		山 口分署	39		6			12		1		20					70	29
	査 察 状 況	査 察 実 施 数	242	1	42	5	9	47		11	4	98		1		24	181	53
消 防 局 (予防課)		80							11		69							
西 宮		本 署	37		9	1	1	14			1	7		1		3	32	2
		北 夙川分署	9		3		3	2								1	8	
鳴 尾		本 署	26	1	6		2	8				3				6	24	17
		浜 分署	34		13	2	1	1			2	4				11	20	13
瓦 木		本 署	12		4			5				2				1	25	6
		甲 東分署	7			1	2	4									11	
北		本 署	10		1	1		2			1	3				2	18	
		山 口分署	27		6			11				10					43	15

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(平成29年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小計	10kℓ以下	10kℓを超え 1,000kℓ以下	1,000kℓを超え 2,000kℓ以下	2,000kℓを超えるもの
1	水 圧 検 査				
	小計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kℓ以下	10kℓを超え 20kℓ以下	20kℓを超えるもの
	1		1		

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(平成29年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
40		40

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(平成30年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	507	134	16	5	51	26	245	16

住宅防災診断実施状況

(平成29年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			1,512
訪問診断	実施数	留守宅数	訪問診断小計
	1,033	479	
自己診断	火災編	地震編	自己診断小計

住宅防災診断指導件数

(平成29年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	338
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	102
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、まめに掃除しましょう。	164
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	35
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	35
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	57
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	48
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	36
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物は置かないようにしましょう。	38
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	26
消火器は必ず設置しておきましょう。	379
消火器の使い方を覚えておきましょう。	242
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	33
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	5
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	0

火災統計



警防練成会

火災の概要

1 概況

平成29年中の火災は、96件で前年86件と比べ10件増加している。これは、過去10年間で、昨年に次いで2番目に少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が53件（前年50件）、林野火災が1件（前年0件）、車両火災が7件（前年7件）、船舶火災が1件（前年0件）、その他火災が34件（前年29件）となっている。

焼損棟数は57棟（前年59棟）、り災世帯数は36世帯（前年40世帯）、り災人員は99人（前年85人）、焼損面積は371㎡（前年2,557㎡）、火災損害額は3,456万9千円（前年2億6,239万4千円）となっている。火災損害額を1件当たりに換算すると36万円（前年305万1千円）となっており、大幅な減少となった。要因は、焼損面積、火災損害額ともに過去10年間で最も少なくなっていることに加え、平成28年に大規模な火災が発生したためである。

なお、火災による死者は、前年に引き続き0人で、負傷者は、10人（前年15人）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

平成29年中の火災は、3.8日に1件の割合で発生している。（前年4.3日に1件）人口1万人当りの出火件数は、2.0件（前年1.8件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、53件（55%）で最も多く、その他火災が34件（35%）、車両火災が7件（7%）となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、4月が13件と最も多く発生し、続いて3月の11件、6月、9月の10件となっている。出火件数の少ない月は、7月の3件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、木曜日が19件と最も多く、続いて金曜日が17件、月曜日が16件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、火曜日及び土曜日の8件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、19時台が10件と最も多く、続いて15時台が9件となっている。3時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が37件、鳴尾消防署が26件、瓦木消防署が22件、北消防署が11件となっている。

3 死者

火災による死者は、2年連続発生していない。

4 負傷者

火災による負傷者は、10人で前年15人より5人減少している。

負傷者の年齢は、65歳以上が6名で全体の60%を占めている。

負傷者が生じた内訳は、避難中が4人、作業中、消火中、その他が2人となっている。

負傷程度は、重症1人、中等症7人、軽症2人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は、57棟で前年59棟と比べ2棟減少している。

内訳は、全焼3件（前年4件）、半焼0件（前年1件）、部分焼10件（前年15件）、ぼや44件（前年39件）となっている。

6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は36世帯で、前年40世帯と比べ4世帯減少しているが、リ災人員は99人で、前年85人と比べ14人増加している。

内訳は、全損1世帯1人、小損35世帯98人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は、371㎡で、前年2,557㎡と比べ2,186㎡減少している。

8 出火原因

出火原因は、「放火（放火の疑い含む）」が26件で最も多く、続いて、「こんろ」18件、「たばこ」8件の順となっている。

（1）第1位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は26件で前年11件と比べ15件増加している。内訳は、火災種別で見ると、建物火災が4件（前年6件）、車両火災が1件（前年0件）、船舶火災が1件（前年0件）、その他火災が20件（前年5件）となっている。

（2）第2位「こんろ」

こんろによる出火件数は18件で、焼損面積が10㎡（前年0㎡）、焼損表面積が456㎡（前年21㎡）、損害額が449万1千円（前年8万3千円）となっている。

燃料別に見ると、ガスこんろ等のガスを燃料とする機器が15件（前年13件）で、大半を占めている。

経過別に見ると、「放置する、忘れる」が8件（前年7件）と最も多く、こんろを火にかけてたが消し忘れたことによるものである。

（3）第3位「たばこ」

たばこによる出火件数は8件で、焼損面積が0㎡（前年14㎡）、焼損表面積が2㎡（前年2㎡）、損害額が7万9千円（前年385万4千円）となっている。

経過別に見ると、「不適當なところに捨てる」が5件（前年18件）で最も多く、続いて「残り火の処置が不十分」が2件（前年3件）の順となっており、主にたばこの不始末が原因となっている。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、日曜日及び月曜日の6件が最も多い。また、時間別では、16時台が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は、3,456万9千円で、前年2億6,239万4千円と比べ2億2,782万5千円減少している。また、建物損害額は、損害総額の92%に当たる3,194万9千円で、前年1億7,376万8千円と比べ1億4,181万9千円減少している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	平成29年 A	平成28年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)	
出 火 件 数		件	96	86	10	11.6	
火災種別	建 物 火 災	件	53	50	3	6.0	
	林 野 火 災		1		1	100.0	
	車 両 火 災		7	7			
	船 舶 火 災		1		1	100.0	
	航 空 機 火 災						
	そ の 他 火 災		34	29	5	17.2	
焼損棟数	合 計	棟	57	59	△ 2	△ 3.4	
	全 焼		3	4	△ 1	△ 25.0	
	半 焼			1	△ 1	△ 100.0	
	部 分 焼		10	15	△ 5	△ 33.3	
	ぼ ぼ		44	39	5	12.8	
り災世帯	合 計	世帯	36	40	△ 4	△ 10.0	
	全 損		1	4	△ 3	△ 75.0	
	半 損			1	△ 1	△ 100.0	
	小 損		35	35			
り 災 人 員		人	99	85	14	16.5	
焼損面積	建 物	㎡	371	2,557	△ 2,186	△ 85.5	
	1 件 当 り		7.0	51.1	△ 44.1		
	林 野	a	18	57	△ 39	△ 68.4	
	1 件 当 り		18.0		18.0		
損 害 額	総 額	千円	34,569	262,394	△ 227,825	△ 86.8	
	火災 1 件 当 り		360	3,051	△ 2,691		
	市民 1 人 当 り		円	71		71	
	建 物	千円		31,949	173,768	△ 141,819	△ 81.6
				建 築 物	21,046	141,079	△ 120,033
	収 容 物			10,903	32,689	△ 21,786	△ 66.6
	建 物 1 件 当 り			603	3,475	△ 2,873	
	林 野						
	車 両			890	70,735	△ 69,845	△ 98.7
	船 舶			1,410		1,410	1410.0
	航 空 機						
	そ の 他			320	17,885	△ 17,565	△ 98.2
	爆 発				6	△ 6	△ 100.0
死 者		人					
負 傷 者			10	15	△ 5	△ 33.3	
一 日 当 り	火 災 件 数	件	0.3	0.2	0.0	西宮市推計人口 平成30年1月1日現在 488,280 人 平成29年1月1日現在 488,843 人	
	建 物 火 災		0.1	0.1	0.0		
	建 物 焼 損 面 積	㎡	1.0	7.0	△ 6.0		
	損 害 額	千円	95	719	△ 624		
人口1万人当りの 出火件数(出火率)		件	2.0	1.8	0.2		

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成20年	116	62,755	747	5	7
平成21年	135	117,695	1,252	2	14
平成22年	157	99,921	1,297	3	19
平成23年	144	150,134	1,069	3	20
平成24年	113	77,330	686	0	25
平成25年	112	91,106	513	3	8
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557	0	15
平成29年	96	34,569	371	0	10
10年間平均	119	113,243	1,000	2	16

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り 災 人 員	焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)
	合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	37	21		2		14	22	1	5	16	16			16	43	164			5	19,321		
西宮	24	16		1		7	17		3	14	13			13	34	104			3	15,081		
北夙川	13	5		1		7	5	1	2	2	3			3	9	60			2	4,240		
鳴尾消防署	26	18		1	1	6	18		2	16	13			13	39	10			4	6,326		
鳴尾	20	17				3	17		1	16	12			12	34	10			4	4,530		
浜	6	1		1	1	3	1		1		1			1	5					1,796		
瓦木消防署	22	10		1		11	12		2	10	6			6	16	7				581		
瓦木	17	8				9	9		2	7	4			4	11	7				552		
甲東	5	2		1		2	3				2			2	5					29		
北消防署	11	4	1	3		3	5	2	1	2	1	1			1	190	18		1	8,341		
北	3	2		1			3	1	1	1	1	1			1	102			1	7,525		
山口	8	2	1	2		3	2	1		1						88	18			816		
合計	96	53	1	7	1	34	57	3	10	44	36	1		35	99	371	18		10	34,569		

月別火災発生状況

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	合計	96	9	7	11	13	6	10	3	4	10	5	9	9
	建物	53	5	5	4	6	4	8	2	1	4	3	6	5
	林野	1									1			
	車両	7	2			2	1				1		1	
	船舶	1									1			
	航空機													
	その他	34	2	2	7	5	1	2	1	3	3	2	2	4
焼損棟数	合計	57	6	5	4	8	5	8	2	1	4	3	6	5
	全焼	3				1		1					1	
	部分焼	10	1		1	3	1	1	1					2
	ぼや	44	5	5	3	4	4	6	1	1	4	3	5	3
り災世帯	合計	36	4	2	1	3	5	5			2	3	4	7
	全損	1				1								
	半損													
	小損	35	4	2	1	2	5	5			2	3	4	7
り災人員	合計	99	16	5	1	11	16	10			7	10	4	19
	全損	1				1								
	半損													
	小損	98	16	5	1	10	16	10			7	10	4	19
損害見積額(千円)	合計	34,569	14,452	61	326	7,829	154	1,071	4,297	14	1,543	33	3,431	1,358
	建物小計	31,949	14,420	61	31	7,549	123	1,071	4,297	14	22	30	2,978	1,353
	建物	21,046	12,256	58	27	4,425	104	827	133	14		4	2,130	1,068
	収容物	10,903	2,164	3	4	3,124	19	244	4,164		22	26	848	285
	林野													
	車両	890	32		69	206	28				110		445	
	船舶	1,410									1,410			
	航空機													
	その他	320			226	74	3				1	3	8	5
爆発														

曜日別火災発生件数

曜日 種別	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
建物火災	5	8	6	7	12	11	4		53
林野火災	1								1
車両火災	1	1		2	2	1			7
船舶火災		1							1
航空機火災									
その他火災	6	6	2	6	5	5	4		34
合計	13	16	8	15	19	17	8		96

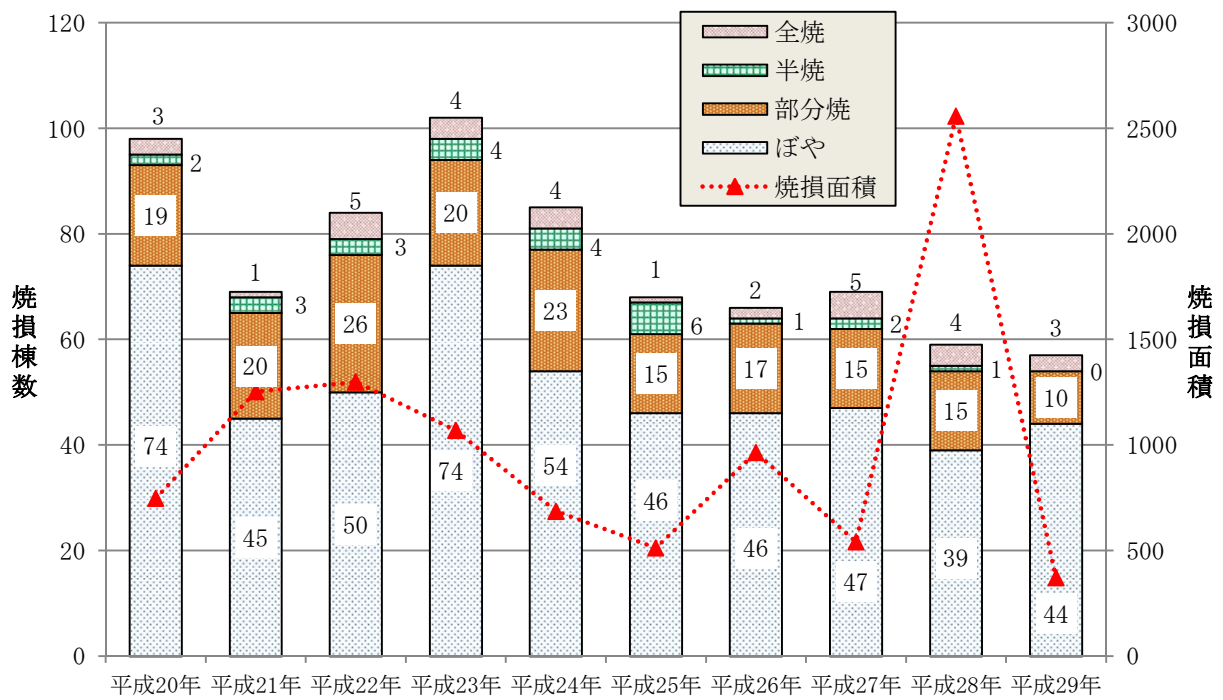
時間別火災発生件数

時間 種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
建物火災	1	2				1		2	3	4	3	2	4	3	5	3		2	3	4	4	2	2	3		53
林野火災												1														1
車両火災			1												1		1		1	2	1					7
船舶火災																1										1
航空機火災																										
その他火災		2	1		1	1	1			1	1	2	1	2	1	5	5	2	1	4	1	2				34
合計	1	4	2		1	2	1	2	3	5	4	5	5	5	7	9	6	4	5	10	6	4	2	3		96

覚知方法別火災発生件数

覚知方法 種別	出火件数							合計	比率 (%)
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他			
専用電話（IP）	13						3	16	17
専用電話（固定）	2		1					3	3
専用電話（携帯）	14	1	4				18	37	39
加入電話（固定）	3		1				6	10	10
加入電話（携帯）	1							1	1
駆け付け通報									
事後聞知	20			1			7	28	29
その他			1					1	1
合計	53	1	7	1			34	96	100

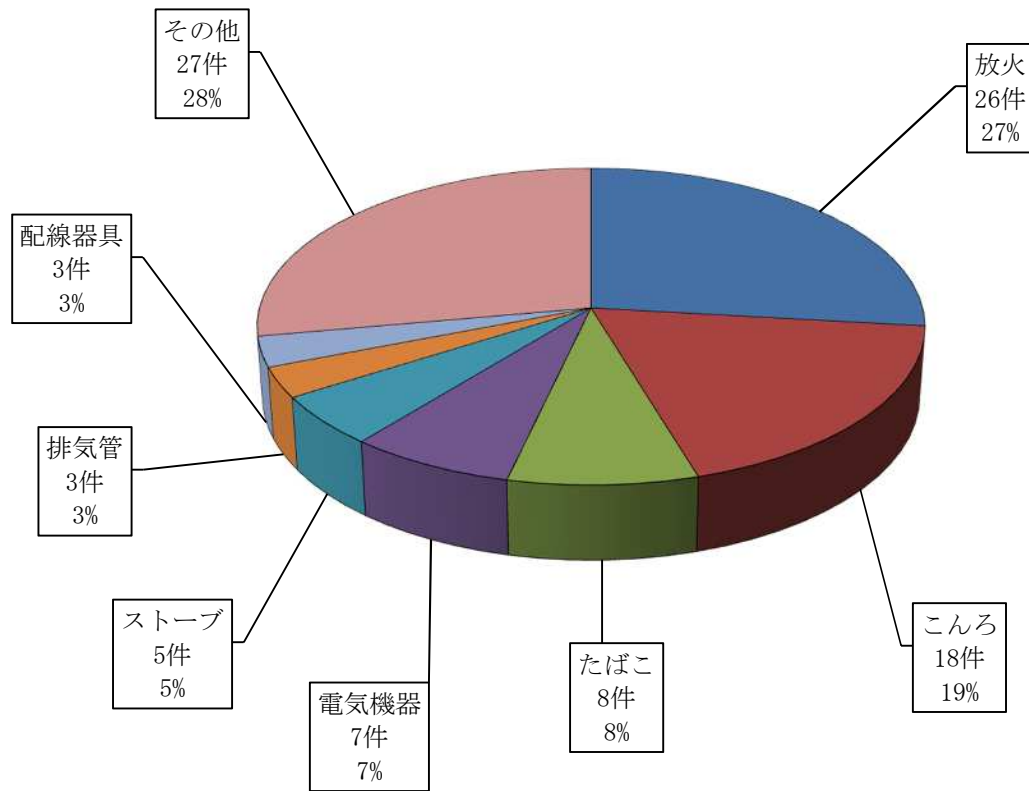
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	平成29年				平成28年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの損害額 (千円)
建物火災	53	31,950	93	603	50	260,118	99	5,202
林野火災	1							
車両火災	7	791	2	113	7	2,210	1	316
船舶火災	1	1,410	4	1,410				
航空機火災								
その他火災	34	418	1	12	29	66	0	2
合計	96	34,569	100	360	86	262,394	100	3,051

平成29年の出火原因



※放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年
1位	放火 38	放火 43	放火 62	放火 43	放火 25	放火 33	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26
2位	たばこ 17	たばこ 19	たばこ 21	たばこ 23	こんろ 21	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18
3位	こんろ 14	こんろ 13	こんろ 16	こんろ 21	たばこ 20	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8
4位	火遊び 8	火遊び 11	火遊び 7	ストーブ 6	火遊び 4		配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7
5位	排気管, 電 気機器, マッチ・ラ イター各4	配線器具 5	配線器具 6	配線器具 5	マッチ・ ライター 3	電気機器 配線器具 溶接機・溶 断機 灯火 各4	排気管 電気装置 電灯電話等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5

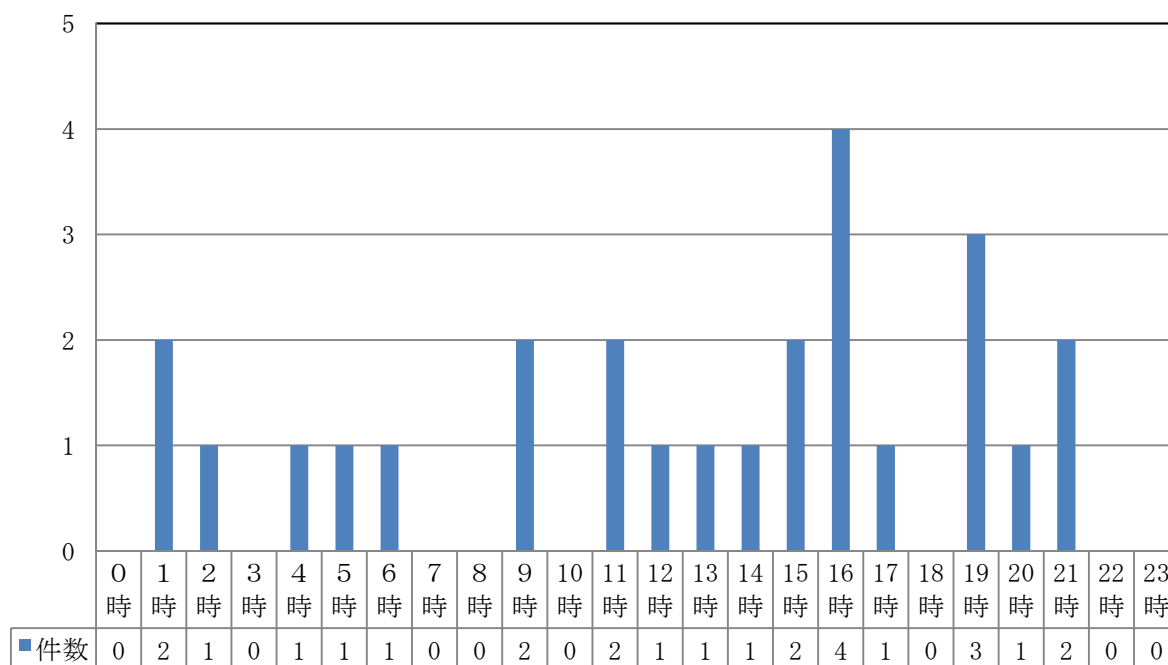
放火件数の推移

年 件数	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平 均
件 数	38	43	62	43	25	33	35	29	11	26	35

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
件 数	6	6	2	3	5	2	2		26

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着 火 物	件 数
袋及び紙製品	4
枯草 (生えたまま枯れたもの)	3
紙屑	2
枯草	2
ごみ類	2
不明	1
第一石油類	1
衣類	1
繊維製品	1
その他	9

主な火災発生状況

① 損害額 1,000万円以上 ② 焼損面積 建物300㎡、林野200a 以上 ③ 即報、詳報に該当する火災 ④ 消防長が必要と認める火災										
No.	月 日	種 別	出 火 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発 生 場 所	火 元 用 途	死 者	負 傷 者	焼 損 状 況
1	1月9日	建物	5時00分	7時02分	専用電話 (携帯電話)	松原町	複合用途			地上6階地下1階建複合用途防火対象物1棟及び地上6階建て複合用途防火対象物の一部を焼損したものの。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	4	10	39
	3	8	30
尼崎市	2	5	21
	1	4	14
宝塚市			
芦屋市	1	2	8
	2	4	16
神戸市	1	3	10

※上段は応援、下段は被応援を示す。

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	3	8	31
	2	7	25
尼崎市	2	5	21
	1	4	14
宝塚市			
芦屋市			
	1	3	11
神戸市	1	3	10

※上段は応援、下段は被応援を示す。

消防局消防活動状況

区 分		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	合計	
出 動 件 数	事後聞知出動	20			1		7	28	
	第 1 出 動	31	1	7			26	65	
	第 2 出 動	2					1	3	
	第 3 出 動								
	合 計	53	1	7	1		34	96	
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	20			1	6	27	
		人員	81			5	26	112	
	第 1 出 動	台数	270	9	9			57	345
		人員	969	27	34			215	1,245
	第 2 出 動	台数	4					2	6
		人員	16					9	25
	第 3 出 動	台数							
		人員							
	特命出動	台数	3		2			5	10
		人員	7		6			13	26
	合 計	台数	297	9	11	1		70	388
		人員	1,073	27	40	5		263	1,408
	放 水 台 数	第 1 出 動	32	1	4			21	58
		第 2 出 動							
第 3 出 動									
特 命 出 動									
合 計		32	1	4			21	58	
放 水 時 間	5 分 未 満	8		1			8	17	
	5 ～ 10 分	5		2			5	12	
	11 分 以 上	19	1	1			8	29	
使用水管数		166	3	7			89	265	
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	22	1				6	29	
	5 ～ 10 分	10		6			18	34	
	11 分 以 上	1		1			3	5	

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上。
現場までの所要時間は、事後聞知出動を除く。

その他災害



消防出初式

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

平成29年中のその他災害発生件数は、前年より30件減少し、941件発生している。

内訳は、「緊急確認」299件（32%）が最も多く、「支援活動」234件（25%）、「補完」213件（23%）「緊急措置」117件（12%）、「その他」78件（8%）となっている。

消防署別では、西宮消防署で263件、鳴尾消防署で205件、瓦木消防署で168件、北消防署で305件発生している。

2 出動状況

平成29年中のその他災害による出動は、1,157台の4,443人となっている。

消防署別出動状況は、西宮消防署が368台の1,510人（本署～251台、1,042人、北夙川～117台、468人）、鳴尾消防署が247台の998人（本署～154台、617人、浜～93台、381人）、瓦木消防署が215台の859人（本署～146台、580人、甲東～69台、279人）、北消防署が327台の1,076人（本署～140台、457人、山口～187台、619人）となっている。

3 災害内容

発生件数941件の災害内容の主な内訳は、「自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動」226件（24%）、「道路上における活動隊の安全確保」185件（20%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」166件（18%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」86件（9%）、「高齢者、身体障害者等の介助」56件（4%）となっている。

所属別その他災害発生状況

区分	所属別	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			合計
		小計	本署	北夙川	小計	本署	浜	小計	本署	甲東	小計	本署	山口	
緊急措置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	14	7	7	6	4	2	5	3	2	1	1	0	26
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	29	19	10	22	15	7	22	17	5	13	7	6	86
	ガス漏れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
	その他緊急対応措置が必要な事案	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1	4
緊急確認	火災と紛らわしい煙の確認	4	1	3	3	2	1	4	2	2	8	2	6	19
	異臭・異音	9	5	4	10	7	3	6	5	1	0	0	0	25
	自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動	104	78	26	60	38	22	53	38	15	9	4	5	226
	ガス・電気等の消し忘れ	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	4	4	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	7
	その他緊急確認が必要な事案	7	7	0	6	4	2	2	1	1	4	1	3	19
支援活動	救急隊の支援に携わった事案	11	5	6	17	16	1	7	4	3	9	6	3	44
	道路上における活動隊の安全確保	63	52	11	39	21	18	47	37	10	36	25	11	185
	上記に該当しない支援活動	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5
その他	自然災害対応	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	0	1	5
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	3	1	2	3	1	2	2	1	1	4	2	2	12
	焚き火、野焼き、火遊び等	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2
	高齢者、身体障害者等の介助	12	5	7	28	18	10	15	8	7	1	0	1	56
	その他社会的危険が考えられる事案	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	3
補完	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	166	66	100	166
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	6	41	47
合計		263	185	78	205	129	76	168	119	49	305	123	182	941
出動台数		368	251	117	247	154	93	215	146	69	327	140	187	1,157
出動人員		1,510	1,042	468	998	617	381	859	580	279	1,076	457	619	4,443

水防統計



西宮市総合防災訓練

水防災活動状況

(平成29年度中)

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	被 害
1	4月17日(月) ～ 4月18日(火)	暴風波浪警報及び連続雨量100mm、150mm超	各署巡らを実施 (北部地域のみ)	巡ら : 4回 4台 14名 その他災害 : 1件 1台 4名	一般住宅2階外壁の剥離 人的被害なし
2	6月30日(金)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施 (南部地域のみ)	巡ら : 6回 6台 21名	特になし
3	8月4日(金)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施 (南部地域のみ)	巡ら : 6回 6台 21名	特になし
4	8月7日(月)	台風5号	水防指令第1号	巡視 : 11回 12台 38名	特になし
5	9月12日(火)	時間雨量30mm超及び大雨洪水警報	各署巡らを実施	巡ら : 8回 8台 27名	特になし
6	9月17日(日) ～ 9月18日(月)	台風18号	水防警戒指令	巡視 : 23回 23台 62名	特になし
7	10月22日(日) ～ 10月23日(月)	台風21号	水防指令第1号	巡視 : 34回 34台 110名 水防作業 : 17回 19台 69名	倒木、看板落下危険事案 人的被害なし
8	3月1日(木)	暴風波浪警報	水防防災配備態勢に伴い 警防課長以下4名参集	その他災害 : 1件 1台 4名	共同住宅ベランダのサン シェード倒壊 人的被害なし

救 急 統 計



救急技術競技会

救 急 の 概 要

1 概況

平成29年中の救急出動件数は23,059件、搬送人員は21,110人で、前年に比べ出動件数は209件、搬送人員は198人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は、「急病」が全体の63.3%を占め、「一般負傷」が16.5%、「交通事故」が7.9%となっている。

また1日の平均出動件数は63.2件で23分に1回救急車が出動し、西宮市民の21人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

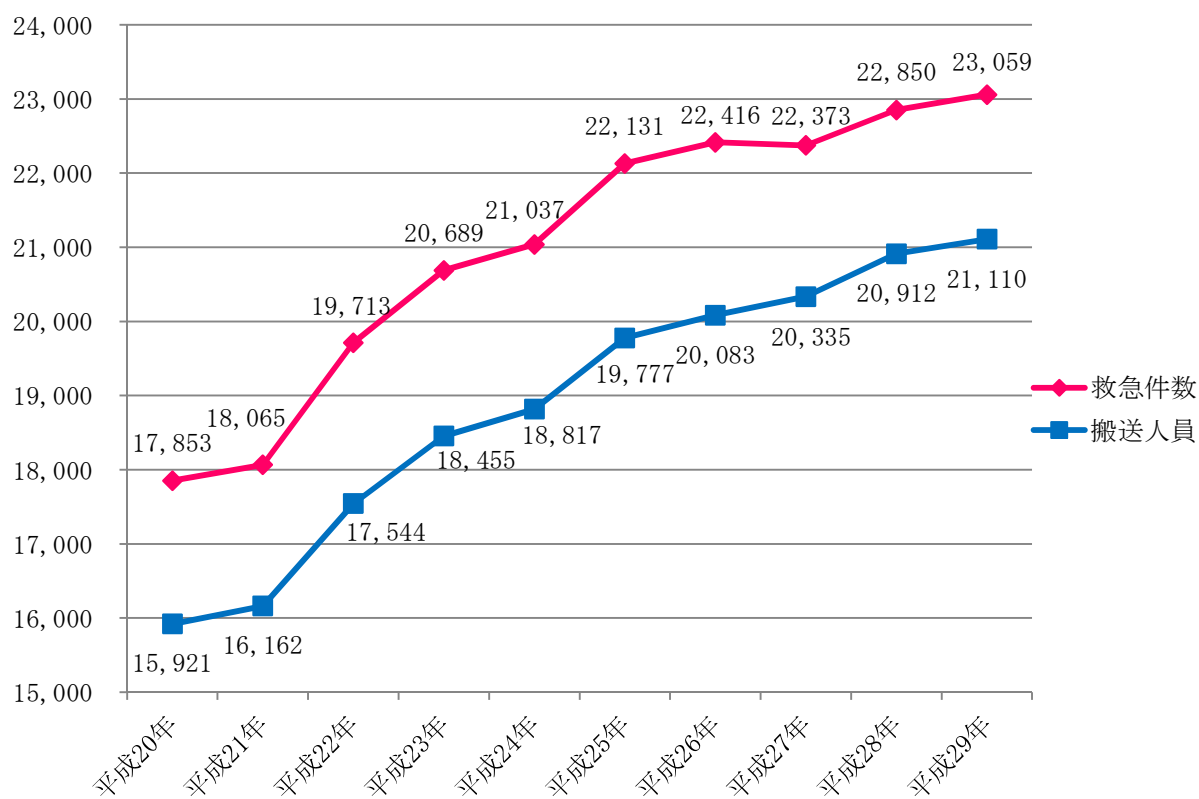
応急手当の普及促進については、短時間で受講できる「救命入門コース」を開催するなど各種救急講習会を積極的に開催するとともに、救命指導員（応急手当普及員）の育成を推進し、市民による病院前救護体制の強化を図り救命効果の向上に努めた。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務への理解と協力を求めるために市ホームページに加え、市公式フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークサービスを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	平成29年	平成28年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	23,059 件	22,850 件	209 件	0.9 %
傷 病 者 搬 送 人 員	21,110 人	20,912 人	198 人	0.9 %
1 日 平 均 出 動 件 数	63.2 件	62.4 件	西 宮 市 推 計 人 口 平成29年 1 月 1 日 現 在 488,843 人 平成30年 1 月 1 日 現 在 488,280 人 前 年 比 -563 人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	23 分 に 1 件	23 分 に 1 件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	21 人 に 1 件	21 人 に 1 件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	23 人 に 1 人	23 人 に 1 人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	472 件	468 件		

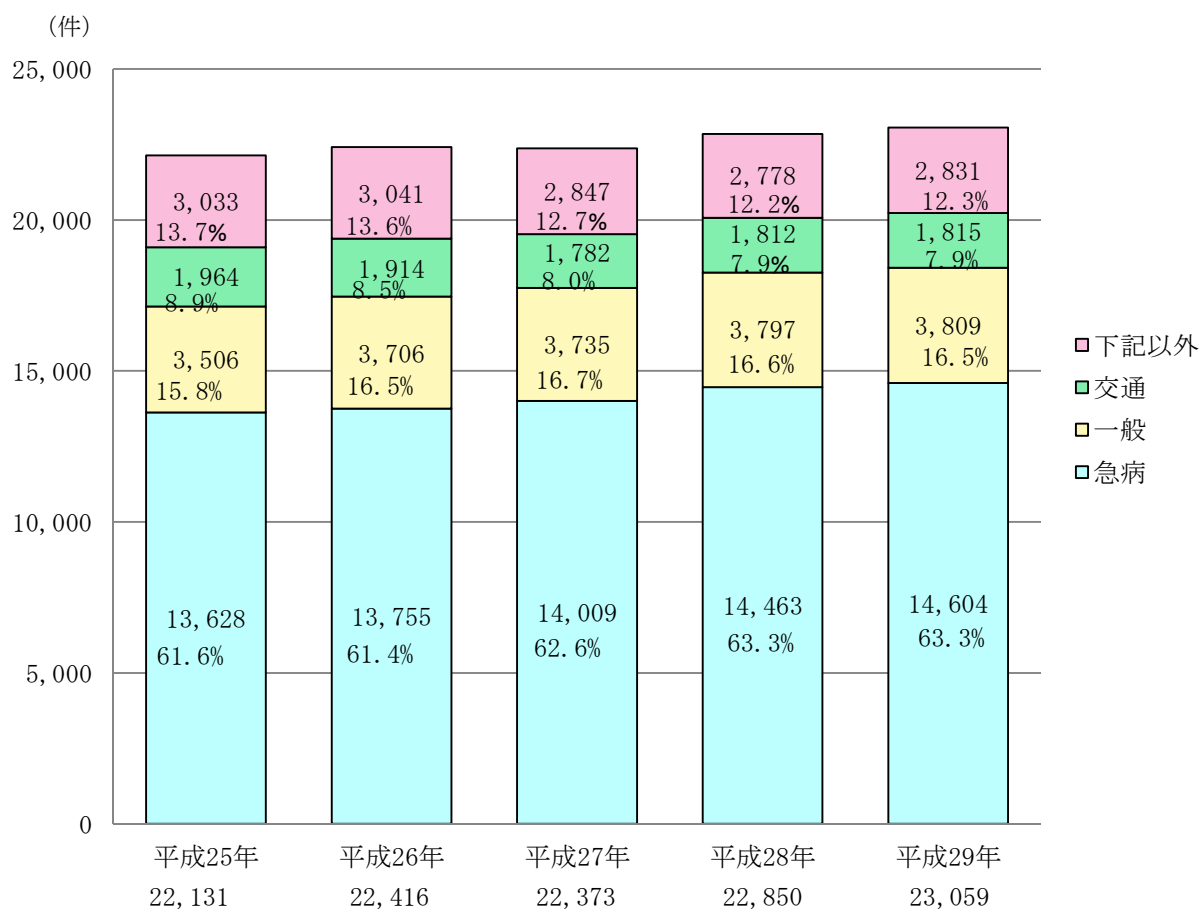
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	急病	交通事故	一般負傷	自損行為	労働災害	加害	運動競技	火災	水難	自然災害	その他	合計
出動件数(件)	14,604	1,815	3,809	186	171	95	225	8	11	4	2,131	23,059
構成比(%)	63.3	7.9	16.5	0.8	0.7	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	9.2	100
搬送人員(人)	13,607	1,767	3,634	133	169	83	224	8	3	4	1,478	21,110
構成比(%)	64.5	8.4	17.2	0.6	0.8	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0	7.0	100

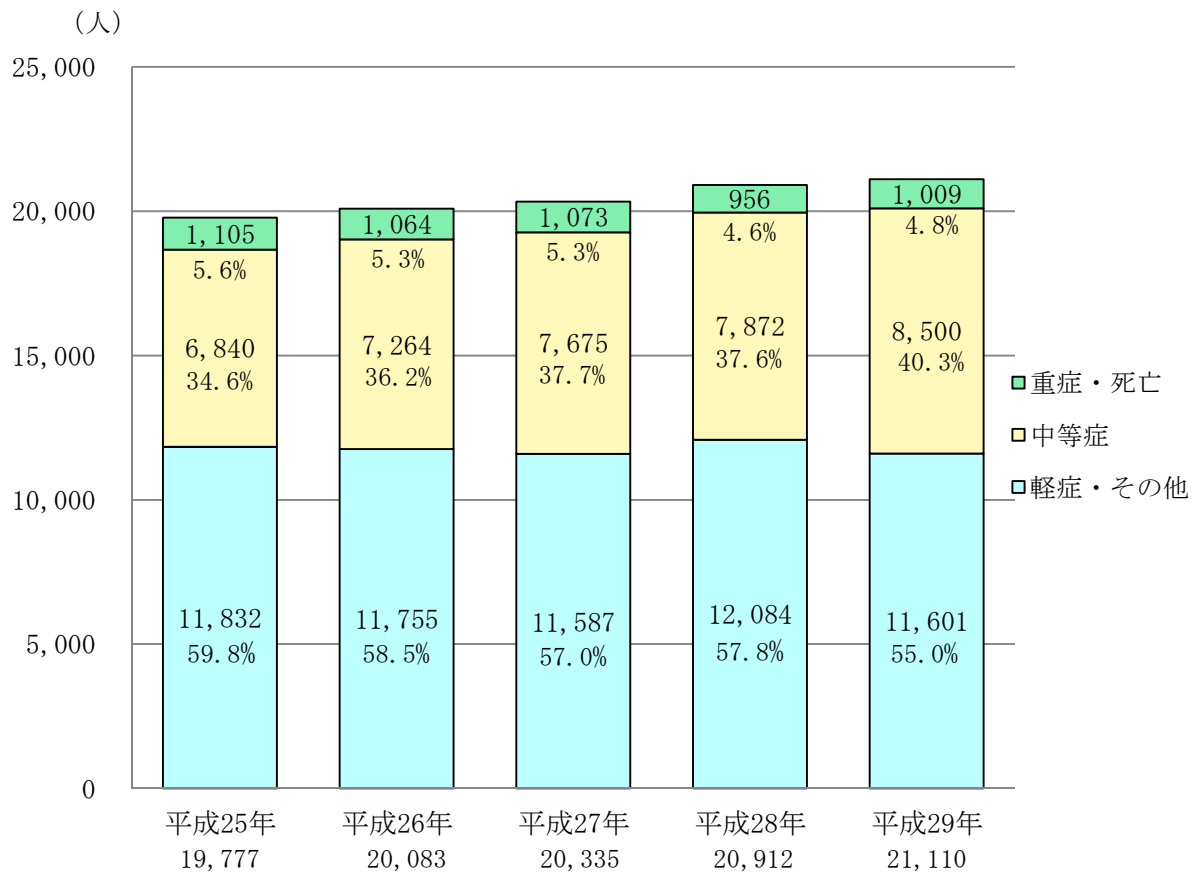
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

		死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
急病	搬送人員(人)	99	279	5,991	7,238	0	13,607
	構成比(%)	0.7	2.1	44.0	53.2	0.0	100
交通事故	搬送人員(人)	2	66	278	1,421	0	1,767
	構成比(%)	0.1	3.7	15.7	80.4	0.0	100
一般負傷	搬送人員(人)	11	372	860	2,390	1	3,634
	構成比(%)	0.3	10.2	23.7	65.8	0.0	100
その他	搬送人員(人)	19	161	1,371	551	0	2,102
	構成比(%)	0.9	7.7	65.2	26.2	0.0	100
計	搬送人員(人)	131	878	8,500	11,600	1	21,110
	構成比(%)	0.6	4.2	40.3	55.0	0.0	100

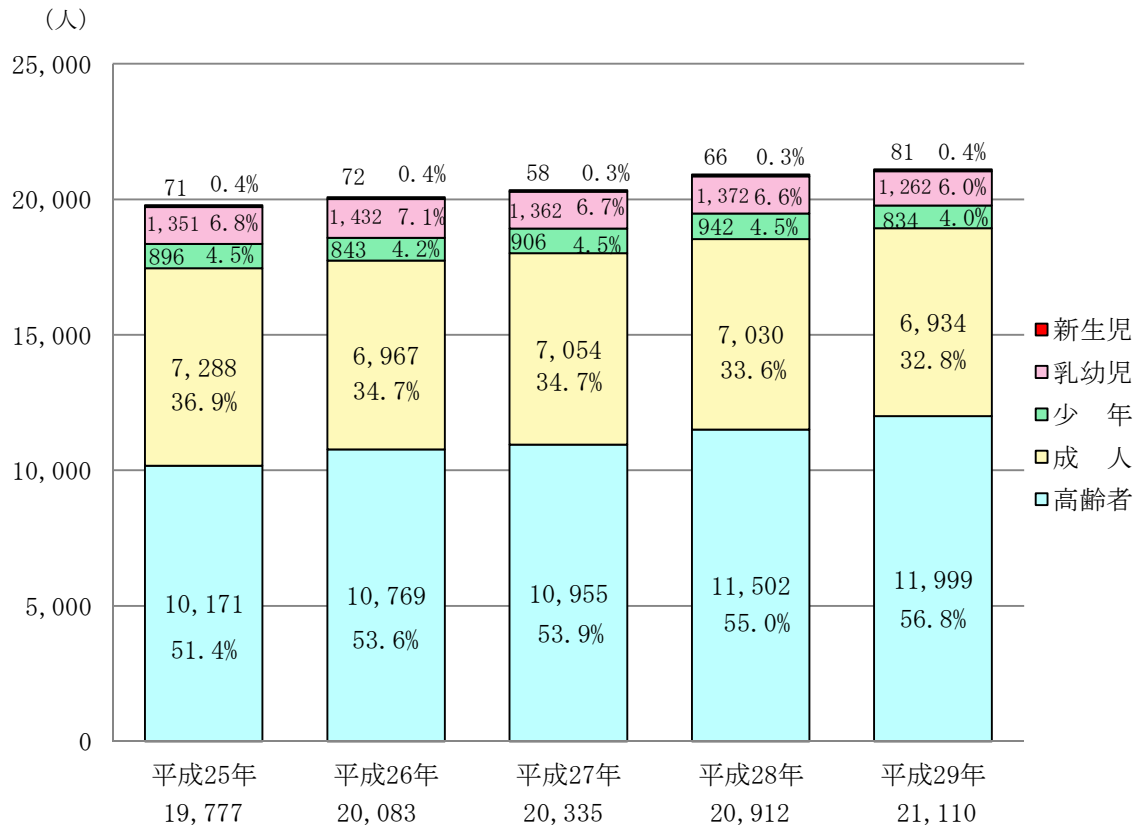
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

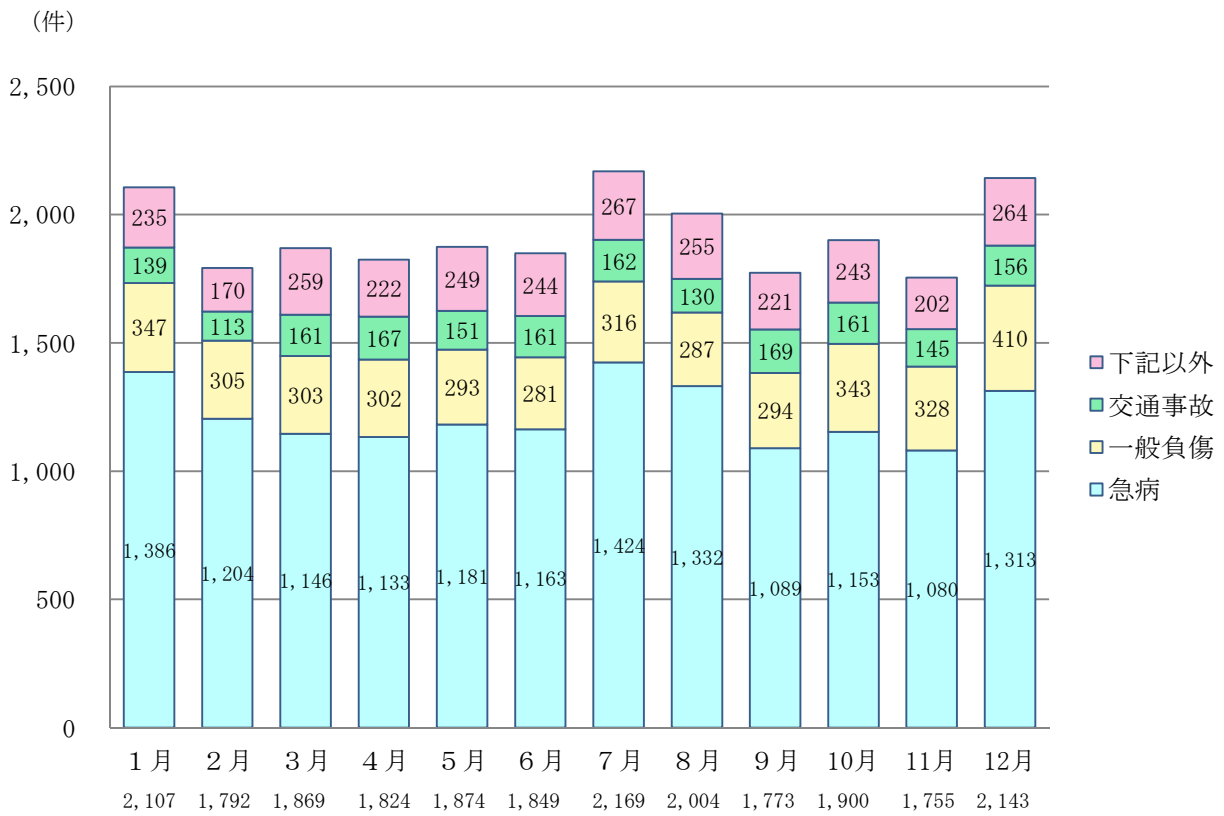
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
急病	搬送人員(人)	9	771	390	4,316	8,121	13,607
	構成比(%)	0.1	5.7	2.9	31.7	59.7	100
交通事故	搬送人員(人)	0	61	164	1,091	451	1,767
	構成比(%)	0.0	3.5	9.3	61.7	25.5	100
一般負傷	搬送人員(人)	1	386	135	676	2,436	3,634
	構成比(%)	0.0	10.6	3.7	18.6	67.0	100
その他	搬送人員(人)	71	44	145	851	991	2,102
	構成比(%)	3.4	2.1	6.9	40.5	47.1	100
計	搬送人員(人)	81	1,262	834	6,934	11,999	21,110
	構成比(%)	0.4	6.0	4.0	32.8	56.8	100

年齢区分別搬送者の推移

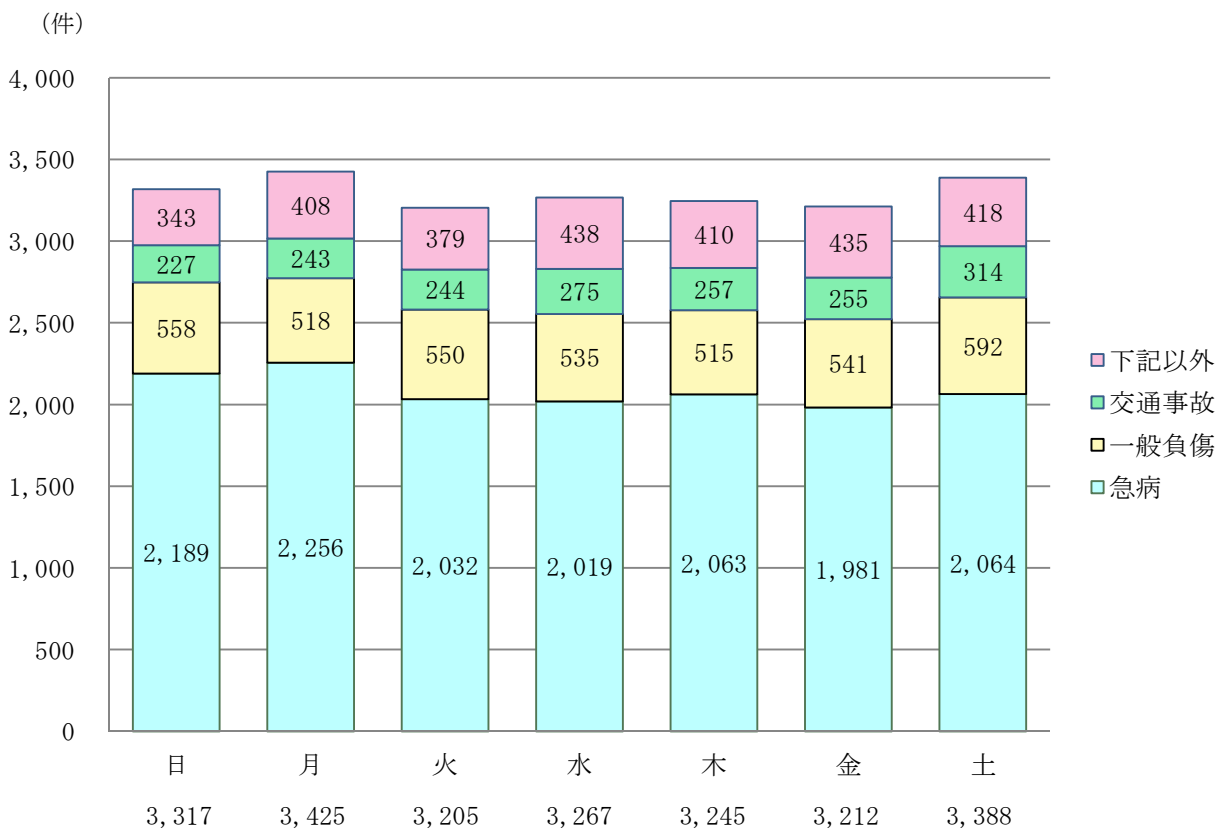


新生児：生後28日未満
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満
 少年：満7歳以上満18歳未満
 成人：満18歳以上満65歳未満
 高齢者：満65歳以上

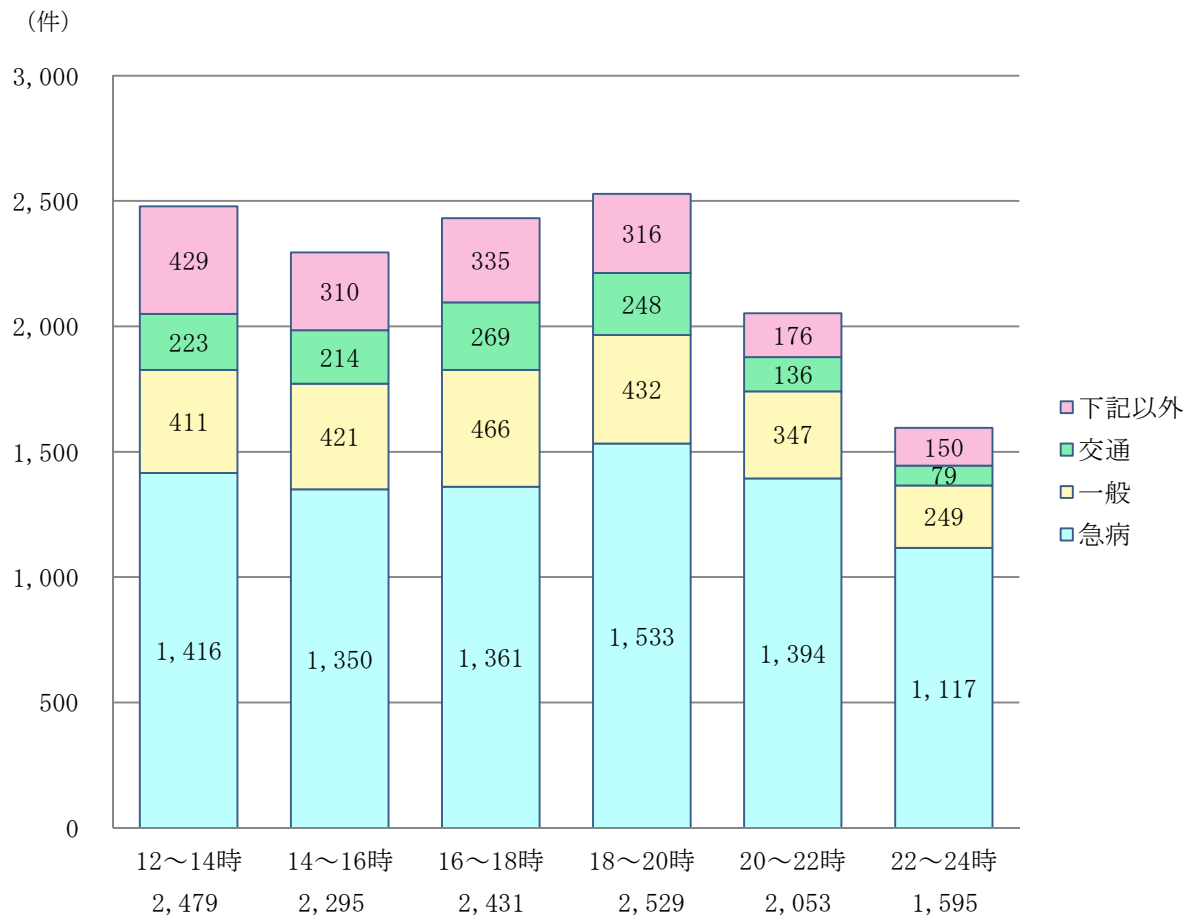
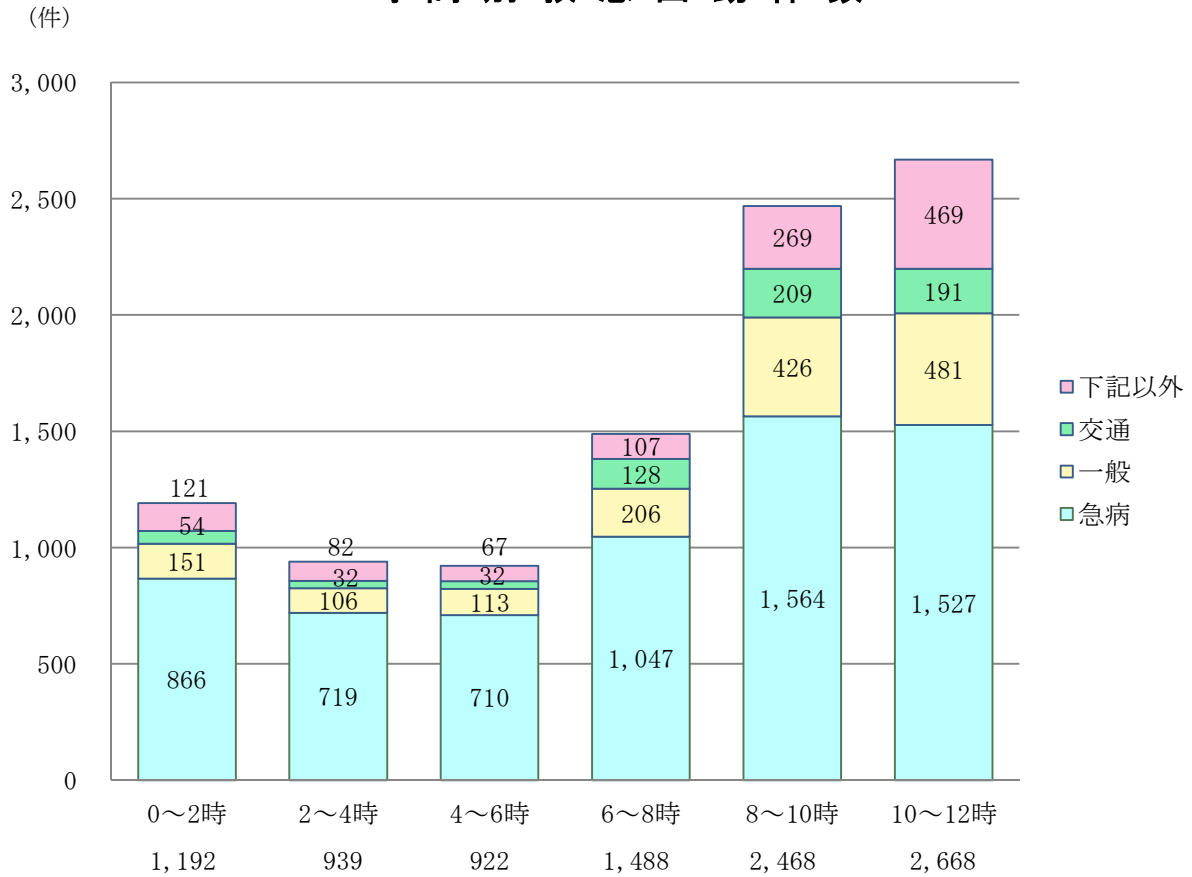
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	救急告示医療機関				その他の医療機関				合 計				その 他 の 場 所	合 計	
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的		国 ・ 公 立	公 的	私 的				計
			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			病 院	診 療 所			
合計	5,647	20	9,204	1	1,132	18	4,880	207	6,779	38	14,084	208	21,109	1	21,110
比率	70.5%				29.5%				32.3%		67.7%		100%	0.0%	100%
市内	4,568	0	8,320	0	19	0	4,565	191	4,587	0	12,885	191	17,663	0	17,663
市外	1,079	20	884	1	1,113	18	315	16	2,192	38	1,199	17	3,446	1	3,447

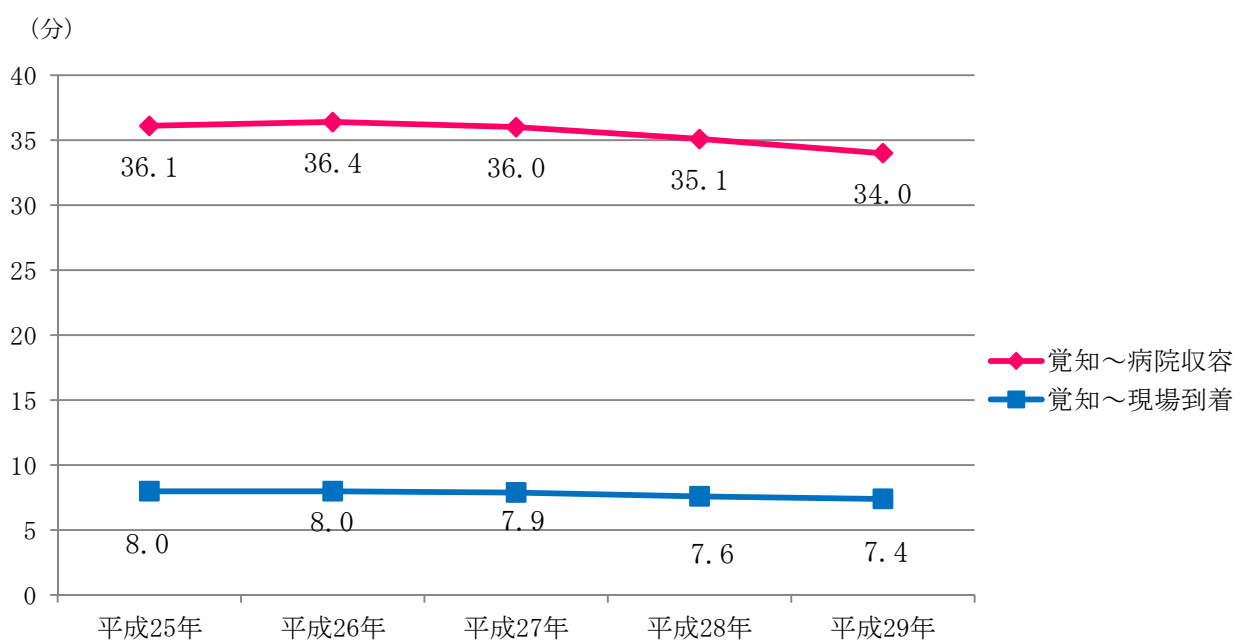
隣接都市救急応援（被応援）出動状況

		出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 台 数
合 計	応 援	38	114	38
	被応援	50	150	50
尼 崎 市	応 援	11	33	11
	被応援	24	72	24
宝 塚 市	応 援	12	36	12
	被応援	20	60	20
芦 屋 市	応 援	5	15	5
	被応援	3	9	3
神 戸 市	応 援	10	30	10
	被応援	3	9	3
そ の 他	応 援	0	0	0
	被応援	0	0	0

現場到着及び病院収容所要平均時間

隊 別 区 分	市 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
覚知～現場到着	7.4		7.2	7.7	6.9	7.8	7.1	7.7	9.4	8.0
覚知～病院収容	34.0		31.6	36.0	33.2	34.9	31.7	35.2	48.2	42.7

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移



応急処置等の状況

応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	13,595	1,761	3,602	2,068	21,026
止血	80	49	211	52	392
固定	14	412	151	89	666
人工呼吸	48	4	1	8	61
胸骨圧迫	5		2		7
心肺蘇生	251	2	22	37	312
酸素吸入	2,573	107	165	506	3,351
気道確保	409	13	36	54	512
	経鼻エアウェイ	4	2		6
	喉頭鏡等を使用した異物除去	4		9	14
	ラリングアルチューブ等	4			4
気管挿管	3		2		5
保温	391	60	68	83	602
被覆	60	476	943	142	1,621
在宅療法継続	26		1		27
除細動	17			1	18
薬剤投与	21				21
その他の応急処置	11,720	1,448	3,020	1,690	17,878
血圧測定	12,734	1,704	3,293	1,929	19,660
聴診器による心音・呼吸音の聴取	4,192	466	400	363	5,421
血中酸素飽和度の測定	13,304	1,757	3,534	2,015	20,610
心電図	7,187	213	602	681	8,683
静脈路確保	51	1		3	55
	うちC P A前	21	1	1	23
	うちC P A後	30			2
血糖測定	184	1	7		192
エピペン投与	1				1
ブドウ糖投与	18				18

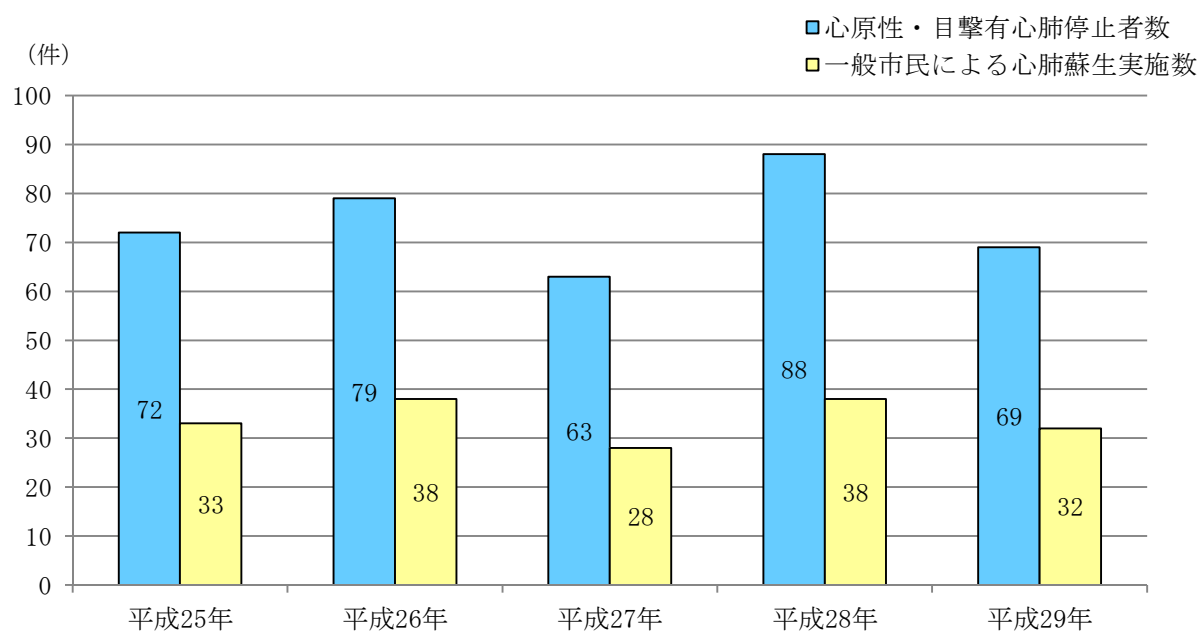
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
出動件数	32	2	4	6	44
対象者数	32	2	4	6	44
医療機関収容者数	21	2	3	2	28

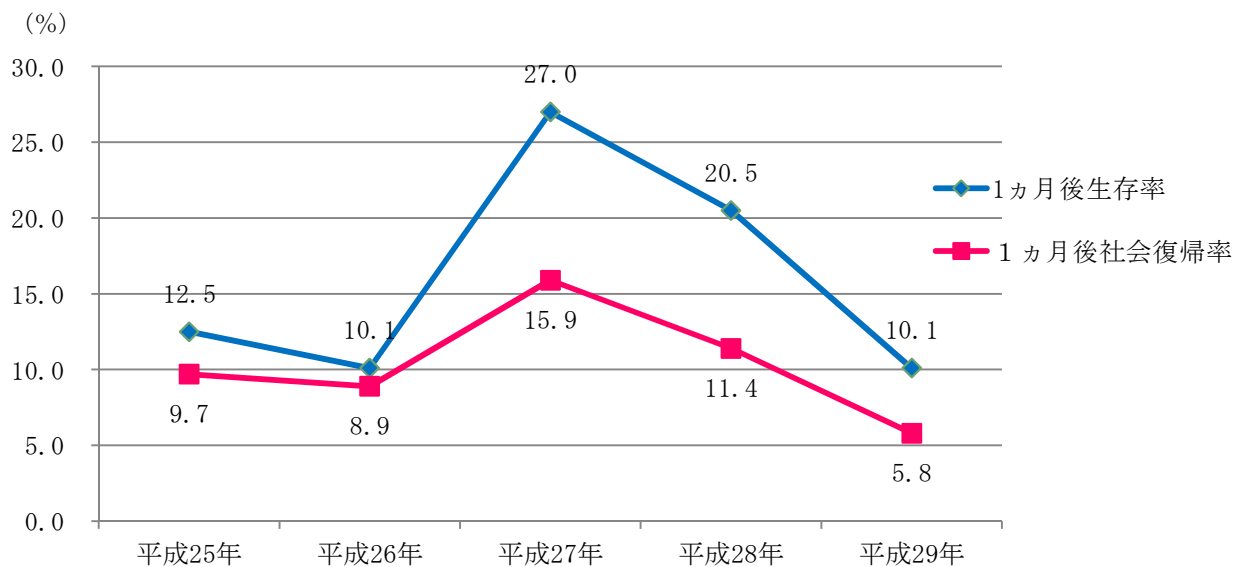
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
69	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
7	4

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



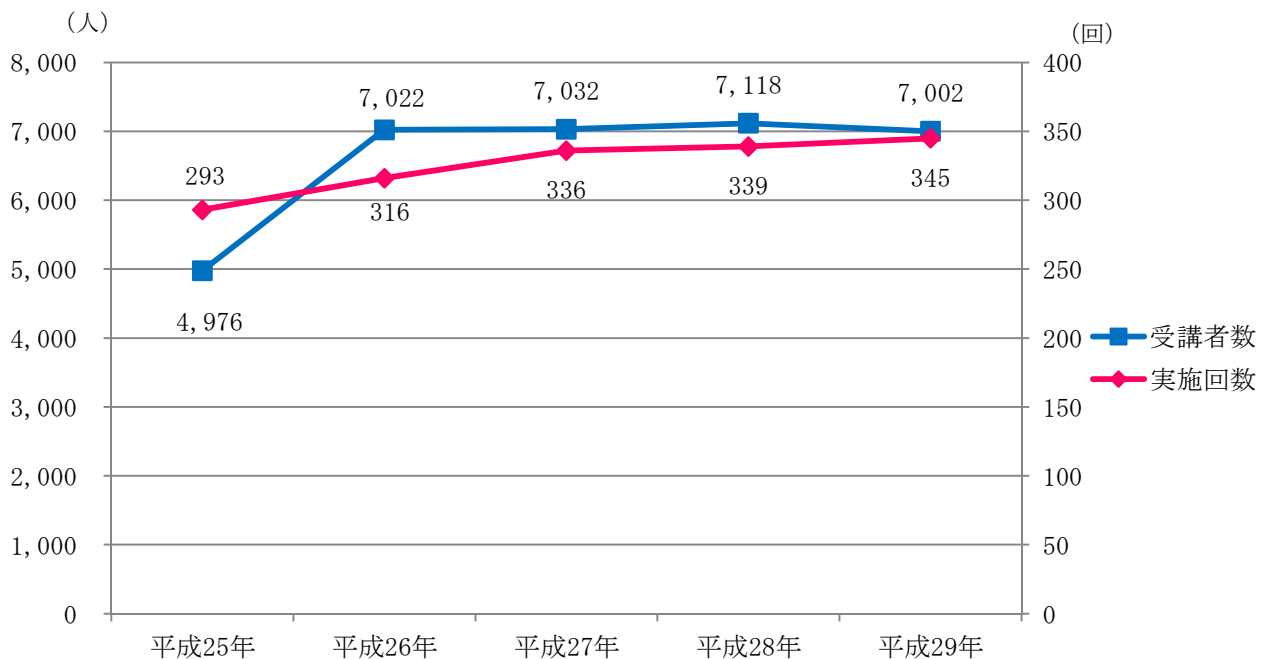
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



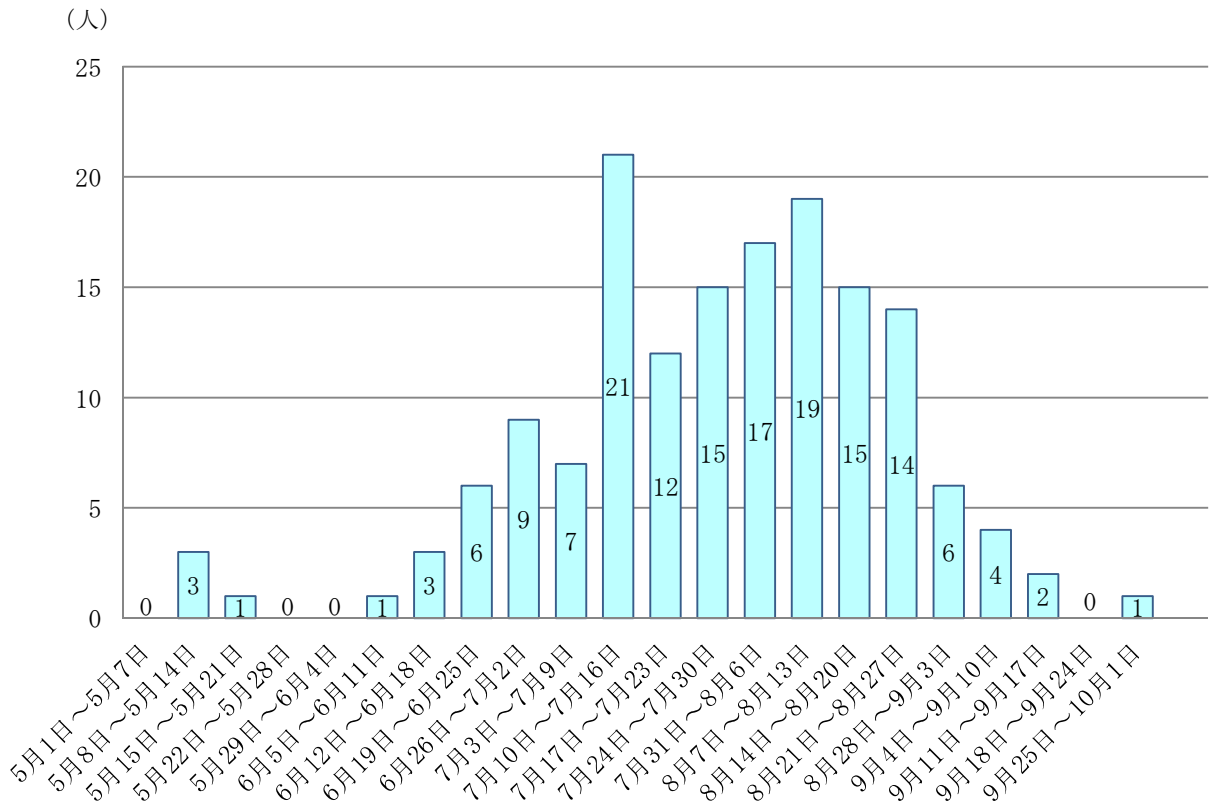
所属別救急講習実施状況

区 分 \ 隊 別		合 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
指導員講習	回数	1	1								
	人数	14	14								
普及員講習	回数	33	33								
	人数	156	156								
普通救命講習	回数	98	20	11	6	14	9	15	9	9	5
	人数	1,298	316	145	94	203	144	151	87	113	45
救命入門コース	回数	104	14	11	5	11	5	21	14	15	8
	人数	2,082	247	189	60	138	101	272	347	502	226
その他の講習	回数	109	11	15	13	18	7	20	12	4	9
	人数	3,452	710	435	233	607	219	616	273	100	259
合 計	回数	345	79	37	24	43	21	56	35	28	22
	人数	7,002	1,443	769	387	948	464	1,039	707	715	530

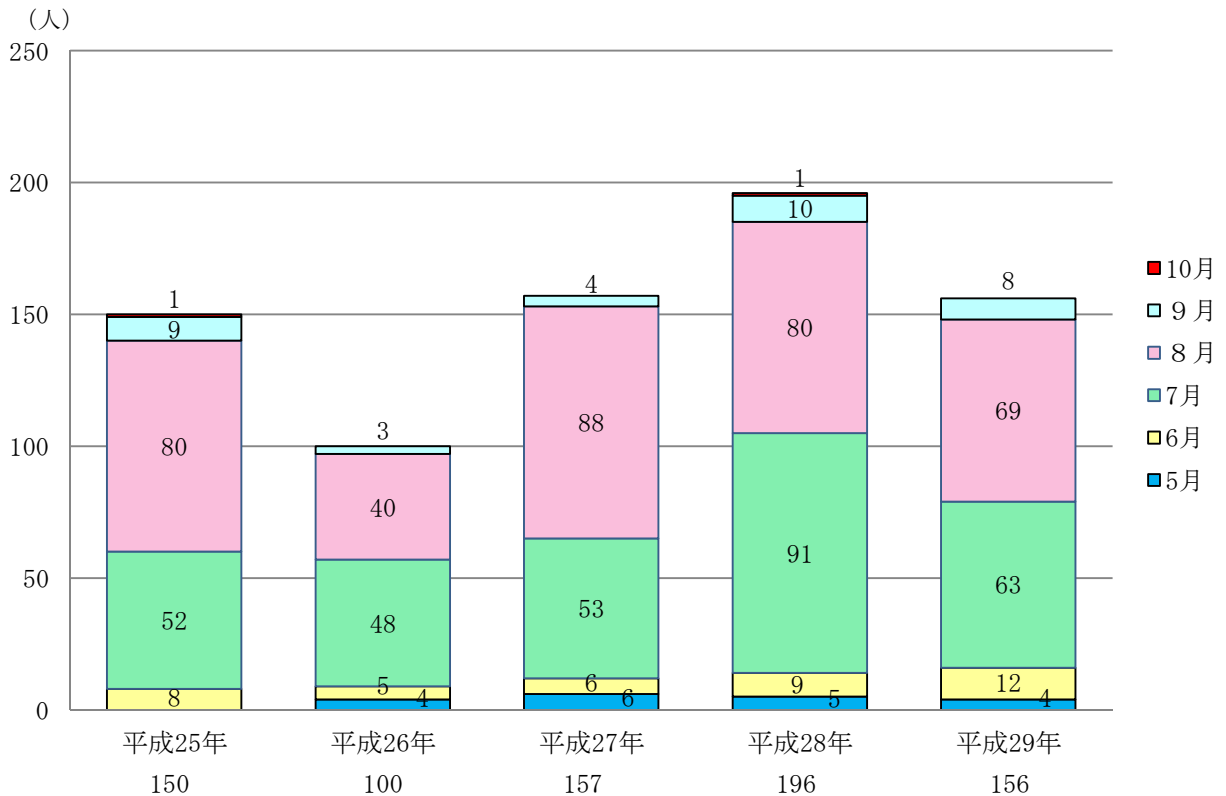
救急講習実施回数及び受講者数の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区分 事故種別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					出 動 人 員
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
合 計	23,059	20,959	2,100	21,110	10,349	10,761	131	878	8,500	11,600	1	69,536
火 災	8	8		8	4	4		1	5	2		24
自然災害	4	4		4	2	2			2	2		12
水 難	11	3	8	3	1	2		1	2			33
交 通	1,815	1,658	157	1,767	1,010	757	2	66	278	1,421		5,476
労働災害	171	169	2	169	132	37		9	57	103		515
運動競技	225	221	4	224	158	66		4	41	179		682
一般負傷	3,809	3,621	188	3,634	1,589	2,045	11	372	860	2,390	1	11,491
加 害	95	82	13	83	48	35			13	70		287
自損行為	186	133	53	133	40	93	9	11	71	42		559
急 病	14,604	13,587	1,017	13,607	6,639	6,968	99	279	5,991	7,238		44,045
そ の 他	2,131	1,473	658	1,478	726	752	10	135	1,180	153		6,412

救 急 隊 別 出 動 状 況

隊 別	区 分	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					出 動 人 員
					合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
合計		23,059	20,959	2,100	21,110	10,349	10,761	131	878	8,500	11,600	1	69,536
西宮市消防局													
西宮消防署	小 計	9,631	8,839	792	8,903	4,358	4,545	58	324	3,343	5,178		29,015
	本 署	7,286	6,673	613	6,719	3,328	3,391	45	219	2,464	3,991		21,964
	北夙川分署	2,345	2,166	179	2,184	1,030	1,154	13	105	879	1,187		7,051
鳴尾消防署	小 計	7,428	6,583	845	6,614	3,268	3,346	38	294	2,954	3,328		22,352
	本 署	5,690	5,000	690	5,023	2,498	2,525	33	253	2,308	2,429		17,082
	浜分署	1,738	1,583	155	1,591	770	821	5	41	646	899		5,270
瓦木消防署	小 計	4,349	3,979	370	4,007	1,903	2,104	20	171	1,453	2,363		13,205
	本 署	2,807	2,537	270	2,553	1,215	1,338	12	106	852	1,583		8,558
	甲東分署	1,542	1,442	100	1,454	688	766	8	65	601	780		4,647
北消防署	小 計	1,651	1,558	93	1,586	820	766	15	89	750	731	1	4,964
	本 署	795	750	45	760	405	355	7	47	318	387	1	2,389
	山口分署	856	808	48	826	415	411	8	42	432	344		2,575

月別・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	合 計	月 別												合 計	曜 日 別						
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		日 曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日
合計	23,059	2,107	1,792	1,869	1,824	1,874	1,849	2,169	2,004	1,773	1,900	1,755	2,143	23,059	3,317	3,425	3,205	3,267	3,245	3,212	3,388
火 災	8	1			2			1				1	3	8	1	2	1		2	1	1
自然災害	4										4			4	4						
水 難	11		2			2		3	1	2		1		11	2	2		2	2	2	1
交 通	1,815	139	113	161	167	151	161	162	130	169	161	145	156	1,815	227	243	244	275	257	255	314
労働災害	171	17	12	16	8	13	18	19	22	15	11	8	12	171	14	20	27	32	20	33	25
運動競技	225	10	6	14	14	27	18	28	35	27	19	14	13	225	67	15	29	21	20	30	43
一般負傷	3,809	347	305	303	302	293	281	316	287	294	343	328	410	3,809	558	518	550	535	515	541	592
加 害	95	12	4	4	6	9	7	16	7	8	4	6	12	95	20	11	9	13	11	8	23
自損行為	186	13	12	14	22	19	17	19	15	14	17	15	9	186	19	29	23	37	31	21	26
急 病	14,604	1,386	1,204	1,146	1,133	1,181	1,163	1,424	1,332	1,089	1,153	1,080	1,313	14,604	2,189	2,256	2,032	2,019	2,063	1,981	2,064
そ の 他	2,131	182	134	211	170	179	184	181	175	155	188	157	215	2,131	216	329	290	333	324	340	299

救助統計



特殊災害対応訓練

救 助 の 概 要

1 概況

平成29年中の救助出動件数は452件、救助活動件数は292件、救助人員は236人となっている。

前年と比較すると、出動件数は16件、活動件数は37件、救助人員は40名増加している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災3件(1%)、交通事故40件(9%)、水難事故13件(3%)、機械事故6件(1%)、建物事故197件(43%)、ガス・酸欠事故2件(1%)、その他の事故191件(42%)となっている。

前年と比較すると、建物事故で31件増加し、火災で1件、交通事故で2件、機械事故で1件、ガス・酸欠事故で2件、その他の事故で9件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災3件(1%)、交通事故18件(6%)、水難事故10件(4%)、機械事故4件(1%)、建物事故164件(56%)、ガス・酸欠事故2件(1%)、その他の事故91件(31%)となっている。

前年と比較すると、交通事故で5件、水難事故で1件、建物事故で28件、その他の事故で5件増加し、火災で1件、機械事故で1件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災で1人(1%)、交通事故21人(9%)、水難事故9人(4%)、機械事故4人(2%)、建物事故158人(66%)、ガス・酸欠事故で2人(1%)、その他の事故41人(17%)となっている。

前年と比較すると、交通事故で6人、水難事故で4人、建物事故で31人、その他の事故で7人増加し、火災で1人、機械事故で7人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	裂	の
		計	災	事	事	災	事	事	酸	事	事
		故	故	故	害	故	故	欠	故	故	故
合 計	出動件数	452	3	40	13		6	197	2		191
	活動件数	292	3	18	10		4	164	2		91
	救助人員	236	1	21	9		4	158	2		41
	出動台数	1,045	39	122	72		12	386	5		409
	出動人員	3,753	187	400	273		44	1,376	20		1,453
西 宮	出動件数	138	3	7			1	62			65
	活動件数	89	3	2				50			34
	救助人員	63	1	2				48			12
	出動台数	320	39	20			2	123			136
	出動人員	1,280	187	77			8	480			528
鳴 尾	出動件数	168		11	12		2	72	1		70
	活動件数	108		6	9		1	59	1		32
	救助人員	87		7	9		1	53	1		16
	出動台数	396		34	66		4	141	3		148
	出動人員	1,386		120	254		14	479	12		507
瓦 木	出動件数	101		1			3	53	1		43
	活動件数	69					3	47	1		18
	救助人員	56					3	47	1		5
	出動台数	202		2			6	102	2		90
	出動人員	698		6			22	354	8		308
北	出動件数	45		21	1			10			13
	活動件数	26		10	1			8			7
	救助人員	30		12				10			8
	出動台数	127		66	6			20			35
	出動人員	389		197	19			63			110

発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別	合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
				建 物	建 物 以 外									
合 計			452	3		40	13		6	197	2		191	
屋 内	住 居		342	2					1	191	2		146	
	その他の屋内		13	1					5	2			5	
屋 外	道 路	名 神 高 速												
		中国自動車道	6			6								
		山陽自動車道	6			6								
		阪 神 高 速												
		一 般 道 路	23			20								3
	内 水 面	河 川	12					6						6
		湖 ・ 沼												
		池												
		プ ー ル												
		そ の 他												
	外 水 面	海	8					7						1
		そ の 他												
		山 岳	6											6
		そ の 他	35			8				4				23
	地 下													
	そ の 他	1											1	

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	452	292	236	3	40	13		6	197	2		191	333	104	2	13
1月	49	31	24	1	3	1		1	20			23	36	11	1	1
2月	30	18	13		1	1			14			14	21	8		1
3月	26	20	16		2				15			9	22	4		
4月	35	22	20		4				15			16	22	12		1
5月	38	20	14		2	1		1	16	1		17	28	8		2
6月	42	29	24		6			1	15	1		19	28	13		1
7月	48	36	31		1	4		1	20			22	35	11		2
8月	45	25	20		2	1		1	18			23	35	8		2
9月	29	15	15		5	2			10			12	23	5		1
10月	39	26	21		4			1	19			15	29	10		
11月	35	26	19	1	5	1			16			12	30	5		
12月	36	24	19	1	5	2			19			9	24	9	1	2

救助出動状況の推移

年 別 区 分		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
出 動 件 数		348 件		326 件		416 件		436 件		452 件	
事 故 種 別	火 災	5	1.4%	10	3.1%	2	0.5%	4	0.9%	3	0.7%
	交 通	42	12.1%	44	13.5%	38	9.1%	42	9.6%	40	8.8%
	水 難	11	3.2%	8	2.5%	9	2.2%	13	3.0%	13	2.9%
	自 然	2	0.6%	1	0.3%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	3	0.9%	3	0.9%	8	1.9%	7	1.6%	6	1.3%
	建 物	132	37.9%	134	41.1%	182	43.8%	166	38.1%	197	43.6%
	ガス・酸欠	8	2.3%	4	1.2%	1	0.2%	4	0.9%	2	0.4%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	145	41.7%	122	37.4%	176	42.3%	200	45.9%	191	42.3%
活 動 件 数		227 件		205 件		247 件		255 件		292 件	
事 故 種 別	火 災	5	2.2%	10	4.9%	2	0.8%	4	1.6%	3	1.0%
	交 通	21	9.3%	17	8.3%	14	5.7%	13	5.1%	18	6.2%
	水 難	5	2.2%	5	2.4%	6	2.4%	9	3.5%	10	3.4%
	自 然	1	0.4%	1	0.5%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	3	1.3%	2	1.0%	5	2.0%	5	2.0%	4	1.4%
	建 物	112	49.3%	114	55.6%	150	60.7%	136	53.3%	164	56.2%
	ガス・酸欠	7	3.1%	3	1.5%	1	0.4%	2	0.8%	2	0.7%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	73	32.2%	53	25.9%	69	27.9%	86	33.7%	91	31.2%
救 助 人 員		206 人		164 人		214 人		196 人		236 人	
事 故 種 別	火 災	8	3.9%	7	4.3%		0.0%	2	1.0%	1	0.4%
	交 通	26	12.6%	17	10.4%	18	8.4%	15	7.7%	21	8.9%
	水 難	5	2.4%	4	2.4%	5	2.3%	5	2.6%	9	3.8%
	自 然		0.0%	1	0.6%		0.0%		0.0%		0.0%
	機 械	6	2.9%	3	1.8%	10	4.7%	11	5.6%	4	1.7%
	建 物	121	58.7%	108	65.9%	146	68.2%	127	64.8%	158	66.9%
	ガス・酸欠	4	1.9%		0.0%	1	0.5%	2	1.0%	2	0.8%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	36	17.5%	24	14.6%	34	15.9%	34	17.3%	41	17.4%
内 訳	男 性	105 人		100 人		113 人		90 人		131 人	
	女 性	101 人		64 人		101 人		106 人		105 人	
出 動 台 数		889 台		886 台		961 台		1,066 台		1,045 台	
出 動 人 員		3,224 人		3,277 人		3,429 人		3,811 人		3,753 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
	合計		7	28	104
		17	85	304	22
尼崎市		3	13	49	
		13	72	255	14
宝塚市		2	9	33	1
		4	13	49	8
芦屋市					
神戸市		2	6	22	

※上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(平成30年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器			アセチレン
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		463	20	388	6	29	20	7	1	6	
局		7	7								
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		109	7	102							
	北夙川	29	2	27							
鳴尾	本署	10				5	5	2		2	
		55		55							
	浜	19		19							
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		63		57	6						
	甲東	29		29							
北	本署	8				2	6	2		2	
		74	2	72							
	山口	29	2	27							

※下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(平成30年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	16		4	4	4	4
三連はしご	19		5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	33		7	12	8	6
油圧ジャッキ	15		5	4	4	2
油圧スプレッダー	19	1	6	5	5	2
可搬式ウインチ	8		2	2	2	2
マンホール救助器具	6	1	1	1	2	1
エンジンカッター	25		9	4	7	5
ガス溶断機	4		1	1	1	1
チェーンソー	25		5	6	7	7
各種ガス酸素濃度測定器	16		7	3	3	3
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	190	6	51	39	58	36
投光器一式	30		6	9	8	7
隊員用自動携帯警報器	197		56	37	53	51
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	4		1	1	1	1
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	2		2			
潜水器具一式	20		5	5	5	5
救命ボート	12		3	3	3	3
船外機	3		1	1	1	
バスケット担架	7		2	2	2	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	16		5	4	4	3
ハンマードリル	15		4	4	5	2
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	60	42	9			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	6		3	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
超音波水中無線機	2		2			
*除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	3		2		1	
簡易画像探索機	2		2			
*有毒ガス検知管	3	1	1			1

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



通信指令業務

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

- (1) 無線設備
 - ア 署活動用無線機21台を更新し、5台を新規購入した。(総数256台)
 - イ バッテリーの老朽化に伴い、署活動用無線機用バッテリー42個を更新した。
 - ウ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の平成29年度における保守について、無線設備の適正な維持管理を継続するため、保守契約を締結した。
- (2) 有線設備
 - 情報送受信等における通信網確保のため、老朽化した指令課のファクシミリの更新を行った。

2 通信業務対応能力の向上

- (1) 各種システムの取扱い
 - 救急医療情報システム及び位置情報通知システム等により、迅速かつ正確な情報収集及び伝達を図った。
- (2) 研修
 - ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修とともに阪神地区消防長会救急隊員研修会の受講及び外部講師を招いての口頭指導研修並びに口頭指導シミュレーション訓練を行った。
 - イ 発生した災害をもとに検討会を実施し、災害対応力の強化を図った。
 - ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。
 - エ 消防緊急情報システムの円滑な取扱技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。
 - オ 人事異動に伴い、局内職員を対象とした非常順次通報装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。
 - カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。
 - キ 異動転入者を対象に各機器の操作研修を実施し、技術の早期習熟を図った。
 - ク 119番分散受信訓練を実施し、指令課の119番回線遮断時の対応能力の習得を図った。
- (3) 広報
 - 消防情報（災害情報、119番のかけ方等）、病院情報等を消防テレホンサービスや市政ニュース、さくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適正な119番通報の認識の普及に努めた。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

- (1) 消防緊急情報システムの運用管理
 - 策定した指令業務の障害レベル決定基準を基に、システム障害を想定したマニュアル指令訓練を実施し、指令課員のシステム復旧までの対応技術並びに危機管理体制のより一層の向上を図った。
- (2) 各種支援情報の更新及び維持
 - システムの機能を最大限に発揮、活用するために水利、道路情報等の各種支援情報を随時更新するとともに、地図検索装置の地図情報を定期的に更新した。
- (3) 消防緊急情報システムの維持
 - 年間計画により、システム機器類の定期点検を行い、障害発生の予防及び障害発生時の早期復旧対応の確立を図った。

消防通報用電話（119番）受信状況

(平成29年中)

種別 月	緊急通報							照会							その他				総 受 信 件 数	1 日 平 均	テ ス ト	テ ス ト を 含 む 総 計	1 日 平 均		
	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	病 院 照 会	小 計	間 違 い	い た ず ら						そ の 他	
1月	2,147	15	2,042	29		41	20	523	4	17	1		3	4	494	336	158	26	152	3,006	97.0	27	3,033	97.8	
	664	2	645	8		6	3	156	1	5			1		149	43	17	4	22	863		1	864		
	863	13	797	17		27	9	281	3	6	1			2	269	131	94	8	29	1,275		7	1,282		
2月	1,826	10	1,768	12		25	11	417	2	18	1		1	9	386	369	142	24	203	2,612	93.3	21	2,633	94.0	
	578	1	567	1		8	1	132	1	1	1		1	4	124	63	20	5	38	773		3	776		
	737	9	704	10		10	4	215		11					204	136	84	11	41	1,088		3	1,091		
3月	1,908	20	1,825	27		24	12	365	6	26			2	5	326	433	155	28	250	2,706	87.3	25	2,731	88.1	
	606	4	589	4		8	1	109	2	7					100	82	33	7	42	797		4	801		
	793	14	737	21		12	9	198	3	11			1	1	182	156	86	7	63	1,147		3	1,150		
4月	1,886	26	1,794	13		37	16	396	3	26			1	1	365	371	152	25	194	2,653	88.4	31	2,684	89.5	
	558	4	548	2		3	1	104	2	4				1	97	59	30	3	26	721		5	726		
	831	20	771	9		22	9	228		13					215	155	83	11	61	1,214		5	1,219		
5月	1,918	10	1,837	27		31	13	425	9	10	1			1	404	409	145	25	239	2,752	88.8	76	2,828	91.2	
	530		519	1		9	1	122	4	4					114	69	21	2	46	721		9	730		
	883	10	830	20		17	6	255	5	4	1			1	244	164	86	9	69	1,302		20	1,322		
6月	1,900	12	1,820	23		20	25	362	4	18	2			3	335	457	158	26	273	2,719	90.6	59	2,778	92.6	
	555	2	545			5	3	97	2	7				2	86	67	27	2	38	719		2	721		
	881	9	829	19		10	14	213	1	6	1				205	187	96	17	74	1,281		13	1,294		
7月	2,196	13	2,075	34		42	32	466		25			1	2	438	439	164	31	244	3,101	100.0	53	3,154	101.7	
	617	1	597	7		8	4	118		3					115	60	25	4	31	795		6	801		
	1,031	10	957	23		22	19	280		14				2	264	198	112	14	72	1,509		11	1,520		
8月	2,027	7	1,919	29		35	37	458	1	9					448	361	147	26	188	2,846	91.8	44	2,890	93.2	
	606	2	591	3		4	6	130		1					129	48	25	4	19	784		1	785		
	926	5	856	20		26	19	276	1	6					269	169	88	14	67	1,371		21	1,392		
9月	1,782	9	1,713	20		2	19	19	337	1	14				322	358	131	17	210	2,477	82.6	86	2,563	85.4	
	501	2	493	2		2	2	96		4				1	91	62	23	2	37	659		6	665		
	816	5	774	15		1	11	10	206		7				199	167	85	7	75	1,189		23	1,212		
10月	2,004	6	1,868	23		10	49	48	335		14			3	318	419	135	18	266	2,758	89.0	60	2,818	90.9	
	625	1	590	8		4	13	9	87		2			2	83	62	30	1	31	774		13	787		
	907	4	829	16		2	25	31	200		9			1	190	187	72	7	108	1,294		13	1,307		
11月	1,771	15	1,692	19		15	30	329	2	15	1				311	408	133	9	266	2,508	83.6	60	2,568	85.6	
	531	4	518	2		2	5	93		6					87	62	13		49	686		14	700		
	827	9	772	17		10	19	183	1	7	1				174	147	86	6	55	1,157		2	1,159		
12月	2,200	25	2,074	18		49	34	411	2	17			2		390	466	174	26	266	3,077	99.3	45	3,122	100.7	
	685	9	661	3		7	5	115		3					112	79	34	2	43	879		6	885		
	963	11	878	14		39	21	238	2	10			2		224	179	88	14	77	1,380		5	1,385		
合計	23,565	168	22,427	274		12	387	297	4,824	34	209	6		10	28	4,537	4,826	1,794	281	2,751	33,215	91.0	587	33,802	92.6
	7,056	32	6,863	41		4	75	41	1,359	12	47	1		2	10	1,287	756	298	36	422	9,171		70	9,241	
	10,458	119	9,734	201		3	231	170	2,773	16	104	4		3	7	2,639	1,976	1,060	125	791	15,207		126	15,333	
1日 平均	64.6	0.5	61.4	0.8		1.1	0.8	13.2	0.1	0.6				0.1	12.4	13.2	4.9	0.8	7.5	91.0		1.6	92.6		
割合 %	70.9	0.5	67.5	0.8		0.0	1.2	0.9	14.5	0.1	0.6	0.0		0.0	0.1	13.7	14.5	5.4	0.8	8.3	100.0		1.7		

(注) ※上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数内数、下段は携帯電話の119番受信件数内数
 ※種別～その他のその他は、通報訓練・緊急通報のテスト及び誤作動等
 ※「水防」は、防災指令第1号以上を言う。
 ※最下段の1日平均及び割合については、小数点第2位以下は切捨て。

消防通信施設の状況

平成30年4月1日現在

区分 所属	119 報知 専用 電話 線本	119 報知 専用 電話 線本	加入電話			携帯衛星		消防電話			指令					単 独 直 通 回 線 本	位 置 情 報 通 知 シ ス テ ム (統 合 型) 式	高 所 監 視 カ メ ラ シ ス テ ム 式	現 場 映 像 伝 送 装 置 式	気 象 情 報 シ ス テ ム 式	衛 星 通 信 ・ 異 災 害 対 応 ・ 異 救 急 シ ス テ ム	無線設備															
			一 般 加入 線本	フ ァ ク シ ミ リ 本	消 防 テ レ ホ ン サ ー ビ ス 本	非 常 順 次 通 報 装 置 本	携 帯 電 話 機 台	衛 星 電 話 機 台	自 動 交 換 機 台	消 防 電 話 機 台	業 務 回 線 本	指 令 台 本	指 令 端 末 指 揮 台 本	指 令 回 線 本	直 通 回 線 本							消 防 団 緊 急 伝 達 装 置 台	基 地 局 式	陸上移動局							携 帯 局 台	衛 星 通 信 可 搬 型 V S A T 台					
																								固 定 型 デ ジ タル 台	車 載 型 デ ジ タル 台	可 搬 型 デ ジ タル 台	可 搬 型 デ ジ ア ナ 変 換 装 置 台	携 帯 型 デ ジ タル 台	携 帯 型 ア ナ ロ グ 台	携 帯 型 (署 活 動 用) 台			携 帯 型 デ ジ タル 台				
																																		固 定 型 デ ジ タル 台	車 載 型 デ ジ タル 台	可 搬 型 デ ジ タル 台	可 搬 型 デ ジ ア ナ 変 換 装 置 台
合計	18	4	75 8	14	5	29	72	3	1	273	36	6	9	9	5	38	6	1	1	2	1	3	3	3	6	114	7	2	86	22	256	26	2				
消防局	18	4	36	5	5	29	12	2	1	82		6	1	1		1		1	1	1	1	3	1			9	3	1	23	6	34	1	1				
整備センター			3	1			7			6	2															8		8									
西宮			5 1	1			9			34	2		1	1											1	10	1		12	2	46	1					
北夙川			4 1	1			5			15	2		1	1											1	5			6	2	22	1					
鳴尾			5 1	1			9			26	2		1	1											1	9	1		2	39	12						
浜			4 1	1			4			15	4		1	1											1	6			1	2	17	7					
瓦木			5 1	1			7			22	2		1	1											1	9	1		11	2	33	1					
甲東			4 1	1			5			14	2		1	1											1	5			6	2	17	1					
北			5 1	1			9	1		25	2		1	1						1				1		9	1		13	2	31	1	1				
山口			4 1	1			5			15	2		1	1						1				1		5		1	6	2	17	1					
市役所																																					
水道局																																					
消防団																																					
医療機関										17	16																										
警察署																																					
大阪ガス																																					
高速道路																																					
西宮北有料道路																																					
西宮市医師会																																					
その他										2																											

- ※ 一般加入には、発信及び着信専用も含む
- ※ 一般加入の下段は、分散受信システム回線数(内書)
- ※ 119転送回線は、受信専用回線

気象情報等月別発令状況

種別	月別												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
警報	大雨								3	2	3			8
	洪水								3	2	1			6
	暴風				1				2	3	2			8
	波浪				1				2	3	2			8
	高潮									2				2
	大雪													0
	津波													0
小計	0	0	0	2	0	0	0	10	12	8	0	0	32	
注意報	大雨				1	2	3	10	9	7	6			38
	洪水				1	2	3	6	6	6	3			27
	強風	8	11	6	8	3	3	3	8	13	14	8	15	100
	波浪	12	11	6	8	3	3	3	8	13	14	7	16	104
	高潮							3	3	2	2			10
	津波													0
	大雪													0
	大風	4	1										1	6
	着雪													0
	なだれ													0
	濃霧	1			1	1						2		5
	低温	1												1
	雷	10	9	4	7	8	11	35	31	16	7	3	5	146
	霜			12	3									15
乾燥	8	3	7	13	9	3			4	2	5	8	62	
着氷													0	
小計	44	35	35	42	28	26	60	65	61	48	25	45	514	
情報	雨		8		3	2	5	19	18	10				65
	雪	15		9	14	1						3		42
	雷	1	9	9	16	3	5	34	30	12		5		124
	高波	10	5	2	6			1					5	29
	低温													0
	高温							13	17					30
	台風							9	10	12	13			44
	梅雨													0
	強風	3	9	6	14	3	6	33	30	12	4	3	5	128
	寒気													0
	春一番													0
	気圧配置		1											1
	津波													0
	地震													0
日照不足													0	
その他				4	4	8	11	14	8	4			53	
火災気象通報	8	7	7	4	2	1		1	4	2	8	14	58	
光化学スモッグ													0	
小計	37	39	33	61	15	25	120	120	58	23	16	27	574	
合計	81	74	68	105	43	51	180	195	131	79	41	72	1,120	

発令された防災指令等

緊急出動指令														0
応急対策指令														0
防災指令第1号														0
防災指令第2号														0
防災指令第3号														0
水防警戒指令								2	1	1				4
水防指令第1号								1		1				2
水防指令第2号														0
水防指令第3号														0
国土大臣が発する水防警報														0
火災警報														0
火災注意報														0
合計	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	6	

消防テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	978	32	184	302	492
2月	431	15	179	192	60
3月	460	15	195	199	66
4月	530	18	273	177	80
5月	600	19	231	275	94
6月	582	19	280	220	82
7月	494	16	190	235	69
8月	448	14	140	248	60
9月	336	11	130	155	51
10月	474	15	221	174	79
11月	515	17	256	152	107
12月	650	21	335	224	91
合 計	6,498	18	2,614	2,553	1,331

- 1 病院情報 【平日】17:00～翌朝8:00
【土曜】11:00～翌朝8:00
【日曜・祝日】8:00～翌朝8:00
- 2 消防情報 24時間
- 3 災害情報 災害(建物・林野火災)発生時随時

車 両 整 備



自動車整備優良事業者・兵庫陸運部長表彰

車 両 整 備 の 概 要

平成29年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、救助工作車 1 台及び高規格救急自動車 2 台を更新購入し、消防及び救急救助体制の充実強化を図った。

- 1 救助工作車
西宮消防署に救助工作車（Ⅲ型）を購入した。
- 2 高規格救急自動車
甲東消防分署及び鳴尾消防署に高規格救急自動車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
救 助 工 作 車	西宮 4	平成29年12月25日	西 宮 消 防 署	更 新
高 規 格 救 急 自 動 車	甲東 9	平成29年10月11日	甲東消防分署	更 新
高 規 格 救 急 自 動 車	鳴尾 9	平成30年 2 月 9 日	鳴尾消防署	更 新

点 検 整 備 等

(単位：台数)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		38	65	83	148	723
消 防 局		9	11	22	33	174
西 宮	小 計	8	13	16	29	142
	本 署	4	10	11	21	94
	北夙川	4	3	5	8	48
鳴 尾	小 計	9	15	14	29	141
	本 署	6	8	8	16	85
	浜	3	7	6	13	56
瓦 木	小 計	5	16	14	30	132
	本 署	4	16	6	22	82
	甲 東	1	/	8	8	50
北	小 計	7	11	16	27	134
	本 署	6	7	9	16	86
	山 口	1	4	7	11	48

消 防 団



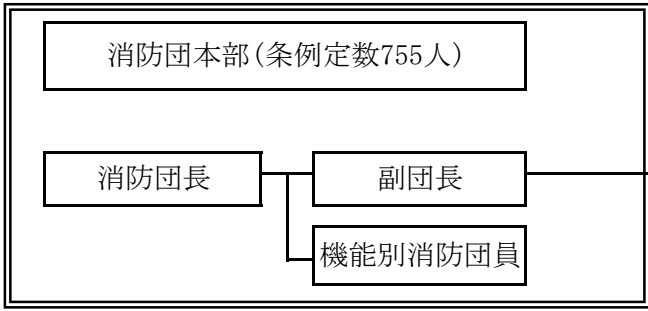
消防団消防操法大会

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材（8品目）を33分団に配置完了（4年計画）
平成11年 2 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工
平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工
平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足

平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工

消防団の組織



消防分団配置状況



- 浜脇分団
- 用海分団
- 建石分団
- 今津分団
- 津門分団
- 安井分団
- 大社分団
- 芦原分団
- 夙川分団
- 越木岩分団
- 段上分団
- 門戸分団
- 上ヶ原分団
- 下大市分団
- 神呪分団
- 上大市分団
- 高木分団
- 瓦木分団
- 甲子園口分団
- 上甲子園分団
- 鳴尾中分団
- 鳴尾西分団
- 鳴尾北分団
- 小松分団
- 小曾根分団
- 鳴尾東分団
- 名来分団
- 下山口分団
- 上山口分団
- 中野分団
- 船坂分団
- 生瀬分団
- 名塩分団

本庁南地区

本庁北地区

甲東地区

瓦木地区

鳴尾地区

山口地区

塩瀬地区

消 防 団 自 動 車 現 況

(平成30年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齢 (年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 平成16	16. 5. 24	14	1,480	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	7	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	7	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	6	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	2	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	1	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	7	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	3	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	5	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	6	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	5	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	3	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	15	4,540	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	15	4,540	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	1	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	2	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	4	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	6	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成15	15. 9. 30	15	4,540	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	4	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	5	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	9	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	4	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	8	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	2	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	8	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	2	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	10	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	14	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
上 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	14	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	9	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	10	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	11	4,610	〃	トーハツ V 20 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	1	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	3	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	8	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	いすゞ 平成16	16. 10. 22	14	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
〃 木之元班	いすゞ 平成19	19. 9. 19	11	4,610	〃	トーハツ V 20 B
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	10	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(平成30年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	計 (うち女性)	1	7	33	36	37	110	474 (7)
5年未満 (うち女性)						2	155 (6)	157 (6)
5～9年 (うち女性)			1	1		9	126 (1)	137 (1)
10～14年					2	14	81	97
15～19年				3	4	26	60	93
20～24年			4	8	12	29	30	83
25～29年		2	14	13	9	22	14	74
30年以上	1	5	14	11	10	8	8	57

※ 団員平均 14年5ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(平成30年4月1日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	計	1	7	33	36	37	110	474
20歳未満							1	1
20～24歳							18	18
25～29歳							24	24
30～34歳							55	55
35～39歳				1		6	66	73
40～44歳					1	16	99	116
45～49歳			1	3	10	29	68	111
50～54歳			5	9	9	31	58	112
55～59歳		1	9	7	6	14	46	83
60歳以上	1	6	18	16	11	14	39	105

※ 団員平均 47歳4ヶ月

消防団費と市民負担

(平成30年4月1日現在)

消防団費	予算額	1世帯当り	人口1人当り
	342,658千円	1,556円	707円

消防団出動状況

(平成29年度中)

種別 区分	合計	火災	水災	警戒	捜索	訓練
出動回数	704	55	2	13		634
出動分団数	1,991	366	66	226		1,333
出動車両数	1,154	162	76	248		668
出動団員数	11,677	1,442	397	1,633		8,205

消防団訓練実施内容

(平成29年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	32	30	32	255
西宮市消防出初式	1	33	37	403
「文化財防火デー」に伴う消防訓練	2	4	4	27
西宮市消防団消防操法大会	1	33	33	203
春の全国火災予防運動・訓練	7	238	266	687
西宮市総合防災訓練	1	16	9	55
秋の全国火災予防運動・訓練	7	238	266	691

※県消防操法大会除く

派遣研修及び教育訓練実施状況

(平成29年度中)

種別 区分	合計	県消防学校	新入団員等研修	機関員研修	ポンプ操法訓練	訓練 礼式	資器材等取扱訓練	ポンプ取扱訓練	電撃操法想定訓練	安全管理講習	救急講習	結 索 訓 練
回数	94	3	1		63	6	4	2	3	1	8	3
人員	1,751	10	26		838	217	146	74	77	61	186	116

※分団定例訓練は除く

団員の職業別

(平成30年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道	運 通 輸 信	卸 小 販 売	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他	学 生 職 等
698	26	1	101	83	26		52	98		23	29	166	27		66

表 彰

(平成29年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	3	5	9	23	34	22
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長	1					
副 団 長	1					
分 団 長	1	2	5	4	2	
副 分 団 長			4	5	2	
部 長		2		7	6	
班 長				4	8	2
団 員		1		3	16	20

消 防 年 報

(平成29年版)

発 行 平成30年 8 月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0911

西宮市池田町13番 3 号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！

